

平成 28 年 度

# 学校要覧・教育計画



## 北海道おといねっぷ美術工芸高等学校

〒098-2501

北海道中川郡音威子府村字音威子府181番地の1

TEL 01656-5-3044・3855

FAX 01656-5-3838

ホームページアドレス <http://otoineppu-ac-h.server-shared.com/>

E-メールアドレス [otokoh@seagreen.ocn.ne.jp](mailto:otokoh@seagreen.ocn.ne.jp)

# 目 次

校章・校歌	1
沿革の概要	2
北海道教育の基本理念	3
上川教育推進プラン・音威子府村教育目標	4
校訓・学校教育目標 重点目標 経営方針 教育課程編成の方針 指導上の重点項目	5
学校経営方針	6
学校経営シラバス	7
教育課程表 平成28年度入学者教育課程表 学年別教育課程表	8
組織及び構成 組織構成図 各種委員会の役割 教職員の構成 教職員一覧	10
生徒状況 生徒出身地別人数 生徒数 進路状況 卒業生総数	12
日課表・各種団体	14
各分掌の計画 総務部 教務部 生徒指導部 進路指導部	15
学年・学級・学科経営計画 第1学年 第2学年 第3学年 工芸科	25
総合的な学習の時間全体計画	33
特別活動全体計画	34
学年別LHR活動年間指導計画 第1学年 第2学年 第3学年	37
道徳教育全体計画	40
高大連携教育計画	41
学校間連携教育計画	42
いじめ対策	43
校舎平面図・施設設備の概要	45
チセネシリ寮概要 寮生数 寮運営機構 寮平面図	46
安全計画と安全管理	47
教育カレンダー	51

# 校 章



音威子府村は馬鈴薯の名産地であることから、その葉の形を描き、三方に配してあらゆる方面に発展してゆくという意味をもたせた。

なかの文字は、音威子府の「音」の字を外側に書き、そのなかに「高」の文字を配した。

# 校 歌

作詞 鳥本 勇  
作曲 浅井 昌明

てん ぼく の み ね あ い よ る は ざ ま  
 か っ こ う よ べ ば み ど り が こ た う  
 わ か き い の ち の あ ふ る る ま ゆ に  
 し ん り と せ い ぎ あ お ぎ て つ ど う た た え  
 よ た た え よ あ あ わ が が く え ん

# 校 歌

作詞 鳥本 勇  
作曲 浅井 昌明

- 一、天北の嶺 相寄る間  
 かつこう呼べば 緑が応う  
 若き命の 溢るる眉に  
 真理と正義 仰ぎて集う  
 讃えよ 讃えよ  
 あ、我が学園
- 二、天塩の流れ 紫紺を映し  
 白雲悠々 牧場のサイロ  
 若き命の 高なる胸に  
 自主と自由を あこがれ集う  
 栄えあれ 栄えあれ  
 あ、我が学園
- 三、六華かがやき 霧華きらめく  
 平和の郷や 夢はるかなり  
 若き命を 清らに寄せて  
 友愛の手を むすびて集う  
 麗わし 麗わし  
 あ、我が学園

# 沿革の概要

- |            |   |            |                                |
|------------|---|------------|--------------------------------|
| 25. 1. 1   | 北海道名寄農業高等学校音威子府分校として認可され、音威子府中学校に設置                             | 14. 3. 6   | 村議会において、女子寮増築可決                |
| 25. 5. 10  | 開校式挙行   | 14. 4. 1   | 北海道おといわっふ美術工芸高等学校へ校名変更         |
| 25. 10. 1  | 北海道名寄農業高等学校より北海道名寄高等学校に移管<br>北海道名寄高等学校音威子府分校と改称                 | 14. 8. 18  | 女子寮増築落成                        |
| 25. 12. 20 | 本校舎(90.75㎡)竣工   | 14. 10. 12 | 第23回木の手づくり展開催 [札幌～14]          |
| 26. 9. 30  | 本校舎(251.0㎡)竣工   | 15. 4. 1   | 工芸コース 美術コースのコース制選択を導入          |
| 28. 2. 3   | 道教委告示26号を以て独立認可、北海道音威子府高等学校と称す                                  | 15. 10. 11 | 第24回木の手づくり展開催 [札幌～13]          |
| 28. 12. 30 | 本校舎2階(72.6㎡)増築竣工  | 16. 2. 10  | 第53回全国高等学校スキー大会 総合優勝           |
| 29. 8. 1   | 北海道札幌南高等学校通信教育部委嘱校となる   | 16. 6. 28  | 第1回上川合同庁舎生徒作品展 [～7/9]          |
| 30. 6. 1   | 定時制課程第一種高等学校に認可   | 16. 9. 24  | 第25回木の手づくり展開催 [札幌～26]          |
| 32. 6. 1   | 北海道札幌南高等学校通信教育部地方協力校となる   | 16. 10. 16 | 音威子府村100周年記念式典                 |
| 33. 11. 14 | 本校舎2階(181.5㎡)および玄関増築落成  | 16. 11. 5  | 産業教育フェア [札幌～7]                 |
| 35. 9. 12  | 創立10周年記念祝賀式典(P.T.Aよりグラントヒアノ寄贈)                                  | 17. 2. 9   | 第54回全国高等学校スキー大会 総合優勝 2連覇       |
| 38. 4. 1   | 工業科目を採択、自動車一般の授業始める   | 17. 6. 27  | 第2回上川合同庁舎生徒作品展 [～7/8]          |
| 38. 6. 22  | 工業実習室並びに公務補室竣工  | 17. 10. 17 | 第26回木の手づくり展開催 [札幌～19]          |
| 38. 6. 30  | 自動車練習場設置  | 18. 6. 26  | 第3回上川合同庁舎生徒作品展 [～7/7]          |
| 41. 8. 10  | 旧校舎2階建(1,343㎡)落成  | 18. 8. 14  | 第27回木の手づくり展開催 [札幌～16]          |
| 43. 11. 8  | 屋内体育館(735㎡)落成   | 18. 10. 1  | 学校評議員会設置                       |
| 44. 12. 5  | 創立20周年記念祝賀式典  | 19. 2. 22  | 上川管内教育実践表彰を受賞                  |
| 50. 3. 31  | 自動車一般の授業をやめる  | 19. 4. 1   | 国立教育政策研究所教育課程研究指定校「美術Ⅰ」        |
| 52. 12. 9  | 高校振興調査委員会発足   | 19. 5. 18  | 高大連携事業調印式(北海道東海大学)             |
| 53. 1. 1   | 芸術として工芸、職業科目としてインテリア実習を採択                                       | 19. 6. 5   | 北海道教育大学岩見沢校とのジオラマ共同制作 [～8]     |
| 53. 5. 24  | 工業実習室の改造によるインテリア実習室竣工   | 19. 6. 25  | 第4回木の手づくり展旭川開催 [上川合同庁舎～7/6]    |
| 53. 6. 30  | インテリア実習室竣工披露  | 19. 9. 18  | 高大連携教育としてデザインスクールを実施           |
| 54. 2. 5   | 「工芸クラブ・インテリア教室・地名調査部」の地域文化の発展に寄与した活動により「北海道知事賞」を受賞              | 19. 10. 15 | 国際理解教育                         |
| 54. 10. 15 | 寄宿舎(チセネシリ寮)落成、入寮式挙行   | 19. 10. 19 | 美術工芸教育実践研究発表会                  |
| 54. 12. 7  | 第1回木の手づくり展(木工展示会)開催 [名寄～9]                                      | 19. 11. 5  | 第28回木の手づくり展札幌開催 [道庁～7]         |
| 55. 9. 27  | 創立30周年記念式典挙行  | 20. 5. 17  | 国際理解教育                         |
| 55. 11. 14 | 第2回木の手づくり展開催 [旭川 11/14～19]<br>[札幌 12/4～9.11～15] [名寄 56/1.21～24] | 20. 6. 30  | 第5回木の手づくり展旭川開催 [上川合同庁舎～7/11]   |
| 55. 11. 30 | 寄宿舎(チセネシリ寮)全館落成、124人収容  | 20. 7. 1   | アジアフロンティアアドベンチャーにて壁画制作         |
| 56. 6. 27  | 「第4回北海道青少年科学文化振興賞」を受賞   | 20. 8. 11  | 第29回木の手づくり展札幌開催 [道庁～13]        |
| 57. 2. 15  | 第3回木の手づくり展(木材工芸展)開催 [名寄～17]                                     | 20. 10. 11 | 国際理解教育 [レクサンド高校より留学生2名受入～23]   |
| 58. 2. 3   | 第4回木の手づくり展開催 [名寄～6]   | 20. 10. 15 | スウェーデン レクサンド高校との姉妹校提携調印式       |
| 58. 11. 11 | 第5回木の手づくり展開催 [旭川 11/11～16]<br>[名寄 11/19～23] [札幌 59/1.18～31]     | 21. 2. 16  | 北海道教育実践表彰を受賞                   |
| 58. 12. 9  | 村立全日制課程・工芸に関する学科、工芸科へ転換認可                                       | 21. 4. 1   | 国立教育政策研究所教育課程研究指定校「工芸Ⅰ」        |
| 59. 4. 1   | 同上発足(1間口、定員15名)   | 21. 6. 24  | 第6回木の手づくり展旭川開催 [上川合同庁舎～7/7]    |
| 60. 1. 21  | 第6回木の手づくり展開催 [名寄～26]  | 21. 8. 1   | 情報機器42台導入                      |
| 60. 12. 20 | 新校舎(第1期工事)完成  | 21. 8. 10  | 第30回木の手づくり展札幌開催 [道庁～12]        |
| 61. 1. 10  | 第7回木の手づくり展開催 [札幌～17]  | 21. 9. 26  | 国際理解教育 [レクサンド高校へ生徒3名派遣～10/7]   |
| 61. 10. 25 | 新校舎工芸棟(第2期工事)完成、落成記念式典  | 21. 11. 1  | 国際理解教育 [レクサンド高校より留学生2名受入～13]   |
| 62. 3. 10  | 全日制工芸科第1回卒業式  | 22. 3. 31  | 女子寮増築落成                        |
| 62. 3. 31  | 定時制課程開課   | 22. 5. 4   | 国際理解教育 [レクサンド高校へ生徒2名派遣～15]     |
| 63. 1. 7   | 第8回木の手づくり展開催 [札幌～13]  | 22. 6. 25  | 第7回木の手づくり展旭川開催 [上川合同庁舎～7/9]    |
| 63. 2. 25  | 上川管内教育実践表彰を受賞   | 22. 8. 9   | 第31回木の手づくり展札幌開催 [道庁～11]        |
| 63. 11. 5  | 第9回木の手づくり展開催 [旭川～9]   | 22. 11. 18 | 国際理解教育 [レクサンド高校より留学生2名受入～27]   |
| 63. 11. 30 | チセネシリ寮学習室増築完成   | 23. 6. 24  | 第8回木の手づくり展旭川開催 [上川合同庁舎～7/7]    |
| 2. 1. 8    | 第10回木の手づくり展開催 [札幌～13]   | 23. 8. 8   | 第32回木の手づくり展札幌開催 [道庁～10]        |
| 2. 5. 24   | 創立40周年記念 標本樹木植樹   | 23. 9. 11  | 国際理解教育 [レクサンド高校へ生徒2名派遣～22]     |
| 2. 11. 14  | 第11回木の手づくり展開催 [旭川～19]   | 23. 10. 20 | 国際理解教育 [レクサンド高校より留学生2名受入～26]   |
| 2. 12. 3   | 創立40周年記念 学校名標示塔建立   | 24. 1. 28  | 木の手づくり展東京開催 [東京～30]            |
| 4. 1. 6    | 第12回木の手づくり展開催 [札幌～10]   | 24. 5. 7   | 国際理解教育 [レクサンド高校へ生徒3名派遣～19]     |
| 4. 11. 18  | 第13回木の手づくり展開催 [旭川～23]   | 24. 6. 8   | 第9回木の手づくり展旭川開催 [上川合同庁舎～22]     |
| 6. 1. 4    | 第14回木の手づくり展開催 [札幌～7]  | 24. 8. 13  | 第33回木の手づくり展札幌開催 [道庁～15]        |
| 6. 11. 15  | 第15回木の手づくり展開催 [旭川～20]   | 24. 11. 21 | 国際理解教育 [レクサンド高校より留学生2名受入～26]   |
| 6. 12. 15  | 屋内体育館(1003㎡)改築落成  | 25. 4. 1   | 国立教育政策研究所教育課程研究指定校「工芸Ⅰ」        |
| 6. 12. 15  | 家庭科棟(535㎡)増築落成  | 25. 6. 7   | 第10回木の手づくり展旭川開催 [上川合同庁舎～21]    |
| 7. 1. 20   | 情報機器21台導入   | 25. 8. 5   | 第34回木の手づくり展札幌開催 [道庁～7]         |
| 7. 9. 30   | 旧体育館跡地外構工事完成  | 25. 9. 16  | 国際理解教育 [レクサンド高校へ生徒3名派遣～27]     |
| 8. 1. 8    | 第16回木の手づくり展開催 [札幌～12]   | 25. 10. 20 | 国際理解教育 [レクサンド高校より留学生2名受入～26]   |
| 8. 9. 29   | 第17回木の手づくり展開催 [札幌～10/5]   | 25. 10. 22 | 高大連携事業調印式(東海大学国際文化学部)          |
| 9. 8. 13   | 第18回木の手づくり展開催 [旭川～17]   | 26. 3. 28  | 女子寮増築落成                        |
| 10. 10. 6  | 第19回木の手づくり展開催 [札幌～9]  | 26. 6. 13  | 第11回木の手づくり展旭川開催 [上川合同庁舎～27]    |
| 11. 10. 6  | 第20回木の手づくり展開催 [札幌～9]  | 26. 8. 4   | 第35回木の手づくり展札幌開催 [道庁～6]         |
| 11. 10. 19 | 校訓披露式挙行   | 26. 9. 15  | 国際理解教育 [レクサンド高校へ生徒3名派遣～25]     |
| 12. 10. 3  | 第21回木の手づくり展開催 [旭川～8]  | 26. 11. 9  | 国際理解教育 [レクサンド高校より留学生2名受入～16]   |
| 12. 10. 28 | 創立50周年式典挙行  | 27. 2. 10  | 第64回全国高等学校スキー大会 総合優勝 [秋田]      |
| 13. 8. 17  | 寄宿舎(チセネシリ寮)改修工事竣工   | 27. 6. 12  | 第12回木の手づくり展旭川開催 [デザインギャラリー～14] |
| 13. 10. 6  | 第22回木の手づくり展開催 [札幌～8]  | 27. 8. 3   | 第36回木の手づくり展札幌開催 [道庁～5]         |
| 14. 1. 11  | 村議会において、校名変更に関する条例案が可決  | 27. 8. 13  | チセネシリ寮男子寮一部改修                  |
|            |   | 27. 8. 31  | 情報機器43台入れ替え                    |
|            |   | 27. 9. 15  | 国際理解教育 [レクサンド高校へ生徒3名派遣～26]     |
|            |   | 27. 10. 18 | 国際理解教育 [レクサンド高校より留学生2名受入～25]   |
|            |   | 28. 1. 20  | 木の手づくり展特別展開催 [札幌かでの2.7～24]     |
|            |   | 28. 1. 31  | 食堂新築                           |
|            |   | 28. 2. 8   | 第65回全国高等学校スキー大会 総合優勝 2連覇       |

# 北海道教育の基本理念

**自立** 自然豊かな北の大地で、自立の精神にあふれ、夢や希望の実現に挑戦し、これからの社会を担う人を育む

**共生** 心豊かに、ともに支えあい、ふるさとに誇りを持つ人を育む

## 【基本目標】

### 基本目標 1 社会で生きる実践的な力の育成

- 生きる知恵につながる確かな学力を育み、自立した生き方を支える教育の推進
- 社会の変化に対応し、新しい時代を切り拓く力を育む教育の推進

### 基本目標 2 豊かな心と健やかな体の育成

- 豊かな人間性と感性を育む教育の推進
- 心身の健やかな成長を促す教育の推進

### 基本目標 3 信頼される学校づくりの推進

- 魅力ある学校づくりの推進
- 教職員に対する信頼性の向上

### 基本目標 4 地域全体で子どもたちを守り育てる体制づくりの推進

- 家庭の教育力の向上への支援の充実
- 地域で子どもたちを育てる環境づくりの推進

### 基本目標 5 北海道らしい生涯学習の実現

- 学んだ成果を生かす生涯学習の推進
- 潤いのある地域づくりをめざす社会教育の推進
- 文化・芸術活動の推進
- 健康づくり・スポーツ活動の推進

# 上川教育推進プラン

## 【推進のテーマ】

学び続け かかわり 高め合う 上川教育の躍動  
〈着実な実践・実蹟の検証・成果の実感〉

## 【生きる力を育む教育の推進】

- I 社会で生きる実践的な力の育成
  - 1 確かな学力を育む教育の推進
  - 2 新しい時代を切り拓く力を育む教育の推進
- II 豊かな心と健やかな体の育成
  - 1 豊かな人間性と感性を育む教育の推進
  - 2 心身の健やかな成長を促す教育の推進

## 【学校・家庭・地域の教育力向上を図る取り組みの推進】

- III 信頼される学校づくりの推進
  - 1 教職員に対する信頼性向上
  - 2 魅力ある学校づくりの推進
- IV 地域全体で子どもたちを守り育てる体制づくりの推進
  - 1 家庭の教育力の向上
  - 2 地域の教育力の向上

## 【上川らしい生涯学習社会の実現】

- V 北海道らしい生涯学習社会の実現
  - 1 生涯各期における学習活動の推進
  - 2 社会教育推進のための基盤整備
  - 3 芸術文化活動の推進

# 音威子府村教育目標

### ○たくましい身体と意志を育てよう

開拓者精神を受け継ぎ、ねばり強くやり抜く強い意志をもち、進んで健康と体力増進につとめ、明るく豊かな村づくりにはげむ村民の育成をめざす

### ○望ましい個性と豊かな人間性を育てよう

自ら学び、自主的、主体的に社会参加を行い、正しい判断のできる心豊かな村民の育成をめざす

### ○規律を守り勤労を愛する心を育てよう

きまりを守り、他人をいたわる心を育てるとともに、勤労の喜びを見出し、生きがいのある生活をつくりだす村民の育成をめざす

### ○自然を愛する心を育てよう

天塩川の恩恵に感謝し、森、川にかこまれた自然を愛する心を育て、住みよいまちづくりにはげむ村民の育成をめざす

### ○文化を高め郷土を愛する心を育てよう

先人の文化的遺産を受け継ぎ、芸術、文化を育み高める心を育て、地域から生まれる生活文化を向上させる村民の育成をめざす

# 校 訓

HEART  
AND  
CREATION

創造 自主 飛翔

## 学校教育目標

造形体験を重ね、  
創造力を育成する

- 基礎基本を重視し、自ら学ぶ意欲を高める
- 個性を生かし、豊かな自己表現を目指す
- 自然に親しみ、情操を豊かにする

### 1 重点目標

- (1) 基本的生活習慣の確立と学習習慣を定着させる。
- (2) 生徒一人ひとりの個性を生かした造形教育を推進する。
- (3) 学校生活・寄宿舎生活をとおりして、キャリア教育を推進し社会性を育成する。
- (4) 魅力ある教育活動の発展充実を目指し研修や実践を推進する。

### 2 経営方針

- (1) 学校教育目標・重点目標を達成するための具体的方策を推進する。
- (2) 生徒一人ひとりの創造力を育てる造形教育の質の向上を図る。
- (3) 学校や寄宿舎での自主的活動を推進し、豊かな社会性を育てる。
- (4) 教職員の計画的な研修活動を推進する。

### 3 教育課程編成の方針

- (1) 工芸科としての特色ある教育課程を編成する。
- (2) 情操豊かな人格の育成を目指し、教科と特別活動等の調和のとれた教育課程を編成する。

### 4 指導上の重点事項

学習指導	(1) 生徒一人ひとりの実態に即した学習指導により、学力を向上させる。 (2) 多様な生徒に対応する教材の開発や指導方法・評価方法の工夫により、自ら学ぶ意欲を喚起し能力を伸ばす。 (3) 高大連携教育や国際理解教育の推進を図り、美術工芸教育・普通科教育を深化させる。 (4) 情報教育や図書教育の充実を図り、豊かな人間性を育成する。
生徒指導	(1) 全教職員の共通理解と実践により、基本的生活習慣の定着を推進する。 (2) 地域の特色を生かした特別活動等の充実を図り、生徒の自主性や自律性を育成する。 (3) 教育相談活動を充実し、多面的な生徒理解を深め、問題の早期発見・対応を実践する。
進路指導	(1) 進路意識を高め、キャリア発達課題の達成を目指し自己実現に向けて努力する態度を育成する。 (2) 自己理解を深め、個性や能力・適性に応じて進路目標を設定する力を育成する。 (3) 個に応じた進路開拓や情報収集・発信を図り、進路実現を達成する。
健康・安全指導	(1) 保健教育活動を充実し、個々の生徒の状況を的確に把握し、生命を大切にし主体的に心身を鍛える生徒を育成する。 (2) 校内外の清掃美化や施設の保全を図り、快適な教育環境づくりを推進する。 (3) 全教育活動をとおりして安全教育を徹底させ、適切な生活行動ができるよう指導する。

# 平成28年度 学校経営方針

生徒・保護者・村民・教職員がともに夢を語り、感動があふれる学校を創造する

## 夢を語り感動があふれる学校づくり

- 1 創作活動をとおして学ぶ意欲を高め、可能性を引き出し、伸ばし、確かな学力を育成する。
- 2 他を思い理解し、共に学び感動があふれる学校生活をとおして、豊かな人間性を育成する。
- 3 全道唯一の工芸科として、美術工芸の学びをとおした質の高い教育活動を推進する。
- 4 生徒・保護者・地域の信頼と期待に応える、地域に根差し開かれた学校づくりを推進する。

## 全道唯一の工芸科として教育活動の充実を図る

- 1 創造力を育成する質の高い美術工芸作品の制作
- 2 学ぶ意欲を高め個性や能力を伸ばす工芸・美術コース
- 3 他を思いやる心を育てる学校教育活動と寮生会活動
- 4 地域の自然や人々、木と触れあうことによる心豊かな人づくり
- 5 一人ひとりが主人公として活躍し自己表現力を育む教育活動
- 6 コミュニケーション能力や社会性を伸長する教育活動

## 創造力を育成し人間力を高める

- |  |   |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1 魅力ある教育活動の推進<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 創造力を育成する教育活動の実践</li><li>(2) 工芸と美術のコース選択による個性の伸長</li><li>(3) 高大連携や国際交流による教育内容の充実</li><li>(4) 21世紀型能力を育てる教育課程の研究</li></ol></li><li>2 個性を伸ばす学習指導<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 自ら学ぶ意欲を高める学習指導</li><li>(2) 質の高い表現学習をとおした創造力の育成</li><li>(3) 基礎的基本的な学力の定着を図る個に応じた指導</li></ol></li><li>3 心に響く生徒指導<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 自らを律する態度を育成する生徒指導</li><li>(2) 教育相談による生徒理解の推進</li><li>(3) 学校生活と寮生活の両輪による望ましい人間関係を構築する能力の育成</li><li>(4) 生徒会と寮生会の活動による自主性の育成</li><li>(5) 特別活動や部活動等による社会性の育成</li><li>(6) 生命を尊重し健やかな心身を育成する健康安全指導</li></ol></li><li>4 未来を拓く進路指導<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 生徒の能力や適性に応じた進路指導</li><li>(2) 自己理解や自己実現を達成する力の育成</li><li>(3) 計画的系統的なキャリア教育の推進</li></ol></li><li>5 学校情報の積極的な発信<ol style="list-style-type: none"><li>(1) Webページ等の充実による情報発信力の向上</li><li>(2) 各種「たより」等による学校理解の推進</li><li>(3) 学校案内、ポスター等の充実</li></ol></li></ol> | <ol style="list-style-type: none"><li>6 学びの成果を発信する生徒作品の公開<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 「村の美術館」として校内生徒作品を公開</li><li>(2) 「木の手づくり展」の充実発展</li><li>(3) 村施設や村民文化祭等で生徒作品を展示</li></ol></li><li>7 地域と一体となった教育活動<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 「植樹祭」「村民運動会」「文化祭」等への参加</li><li>(2) 授業や学校行事等の教育活動を公開し地域の教育力を活用</li><li>(3) 小中高の連携した学びの充実</li><li>(4) 「エコミュージアム」等でのボランティア活動</li><li>(5) 北海道大学中川研究林との「森林探訪」の実施</li><li>(6) 村内学校間での連携事業の工夫改善</li><li>(7) 村内各スキー大会への支援や地域行事への参加</li></ol></li><li>8 教えるプロとしての教師力向上<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 磨きあい高めあい支えあう教職員集団</li><li>(2) 校内研修会や公開授業による資質能力の向上</li><li>(4) 校外各種研修会等の参加と情報の還元、共有</li><li>(5) 村内教育推進協議会による研修の充実</li><li>(6) 高大連携をとおした大学教員との専門的研修</li><li>(7) 生徒、保護者、地域から信頼される教職員集団</li><li>(8) 学校評価、授業評価、学校評議員会を踏まえた課題改善</li><li>(9) 服務規律保持、危機管理の高揚に向けた研修</li></ol></li><li>9 特色ある教育活動の充実発展<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 東海大学との高大連携教育</li><li>(2) スウェーデンとの国際理解教育</li><li>(3) 全道唯一の工芸科による「人づくり」</li></ol></li></ol> |
|--|---|

# 平成28年度 北海道おといねっぴ美術工芸高等学校 学校経営シラバス

<p style="text-align: center;">学校教育目標</p> <p style="text-align: center;">造形体験を重ね、創造力を育成する 基礎基本を重視し、自ら学ぶ意欲を高める 個性を生かし、豊かな自己表現を目指す 自然に親しみ、情採を豊かにする</p>	<p style="text-align: center;">校 訓</p> <p style="text-align: center;"><b>HEART AND CREATION</b> 創造 自主 飛翔</p>
--	--

<p style="text-align: center;">めざす学校像</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 生徒、保護者、地域、教職員に夢と感動があふれる学校</li> <li>2 一人ひとりの可能性を限りなく伸ばし進路が実現できる学校</li> <li>3 地域に信頼され特性を活かしながら確かな学力や豊かな人間性を育む学校</li> </ol>	<p style="text-align: center;">めざす生徒像</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 目標を持って、主体的に学び努力する生徒</li> <li>2 夢を創造し、未来に向かって前進する生徒</li> <li>3 生命や自然を愛し、豊かな心を持った生徒</li> </ol>
---	---

領域	対象	中期目標	今年度の目標	目標達成のための評価の観点
教 育 活 動	学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全道唯一の工芸科として、教育課程の充実・発展</li> <li>○学ぶ意欲と基礎基本を重視した確かな学力の向上</li> <li>○個に応じた指導の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○興味関心を喚起し、学ぶ意欲を高める授業内容の工夫改善</li> <li>○基礎的基本的な学力の定着、個に応じた指導、発展的学習の充実、創造力を育成する美術工芸教育の質的向上</li> <li>○地域の特性を活かした魅力ある教育活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒が意欲的に学んでいるか</li> <li>○校内外の研修、授業評価等をとおして授業内容の改善が図られたか</li> <li>○きめ細かい個に応じた指導が効果的に実践されたか</li> <li>○基礎的基本的な学力の定着が図れたか、美術工芸作品の制作をとおして確かな学力が伸長したか</li> <li>○地域と一体になって教育活動が進められたか</li> </ul>
	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な生活習慣の確立と豊かな心の育成</li> <li>○社会性や規範意識に基づく、判断力、行動力の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コミュニケーション能力、社会性の育成に重点を置いた基本的な生活習慣の確立</li> <li>○自らを律し、他を思い理解する態度を養う指導</li> <li>○生徒主体の生徒会活動等の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校生活、寮生活で望ましい人間関係が構築できているか</li> <li>○社会性が身に付き規律ある集団生活が行われたか</li> <li>○生徒が積極的に参加する生徒会活動等であったか</li> </ul>
	進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自己理解と勤労観・職業観の深化</li> <li>○自らの在り方生き方を求め自己実現を達成する力の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○キャリア教育の推進による進路実現の充実</li> <li>○早期からの計画的な進路指導</li> <li>○資格取得の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会的、職業的自立のための進路が決定したか</li> <li>○1学年からの計画的系統的な進路指導が行われたか</li> <li>○生徒が積極的に資格取得者に挑戦したか</li> </ul>
	健康・安全指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>○心身の健康や安全に対する意識の高揚</li> <li>○環境美化やボランティア活動に積極的に参加する態度の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒理解の深化と教育相談の充実</li> <li>○安全教育の取組の徹底</li> <li>○環境美化意識の高揚と清掃活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人ひとりに目を向け適切な教育相談ができたか</li> <li>○安全教育を効果的に実践し、生徒の危機管理意識が高まったか</li> <li>○生徒が積極的に校舎内外の美化・清掃活動に取り組んだか</li> </ul>

学 校 経 営	信頼される学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育活動の積極的発信と地域連携の充実</li> <li>○学校評価等を活用した教育活動の不断の改善</li> <li>○教職員の服務規律の保持、倫理観の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Web ページや学校だより等の充実と学校理解の推進</li> <li>○学校評価等による課題の明確化と PDCA サイクルによる改善</li> <li>○保護者、地域、学校の連携の強化</li> <li>○教職員の教育公務員としての自覚の高揚</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Web ページ等で積極的に教育活動の情報発信を行い、保護者や地域、中学生等の学校理解が深化したか</li> <li>○学校評価や学校評議員会が学校改善に生かされたか</li> <li>○保護者や地域等との連携が強化したか</li> <li>○教育公務員としての社会的責任を教職員が自覚したか</li> </ul>
	組織運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校課題の明確化・共有化</li> <li>○課題解決に向けた組織的な協働体制の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○報告・連絡・相談体制の機能徹底</li> <li>○PDCA サイクルの効果的な活用</li> <li>○危機管理の徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育活動全般に渡り教職員が連携したか</li> <li>○前例踏襲に陥らずに各取組が改善に向かったか</li> <li>○危機管理マニュアルが整備されたか</li> </ul>
	教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○専門性と資質能力の向上</li> <li>○教職員の健康増進</li> <li>○共に学び合う教職員集団</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業力、生徒指導力の向上と専門性の深化</li> <li>○超過勤務の縮減と健康管理体制の確立</li> <li>○校外研修の伝達、校内研修の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業改善や実践力が向上したか、教科の専門的スキルが高まったか</li> <li>○個々の教職員が業務の効率化を図ったか</li> <li>○教職員間がコミュニケーションを図り、個々の教職員の協働意識が向上したか</li> </ul>

# 教育課程表

## 1 平成28年度 入学者教育課程表

教科	科目	標準単位数	1年	2年		3年	
			共通	工芸	美術	工芸	美術
国語	国語総合	4	2	2	2		
	国語表現	3				4	4
地理歴史	世界史A	2				2	2
	地理A	2		2	2		
公民	現代社会	2	2				
数学	数学I	3	2	2	2		
	数学A	2				3	3
理科	化学基礎	2	2				
	生物基礎	2		2	2		
	地学基礎	2				2	2
保健体育	体育	7~8	2	2	2	3	3
	保健	2	1	1	1		
芸術	美術I	2	2				
	工芸I	2	2				
外国語	コミュニケーション英語I	3	2	2	2		
	英語表現I	2				4	4
家庭	家庭基礎	2	2				
情報	社会と情報	2		2	2		
工業	工業技術基礎	2~4	4				
美術	素描	2~6			1		1
	絵画	2~4			3		
芸術	美術研究○	3					3
工芸	図法・製図○	5	1	2	2	2	2
	木材理論○	1	1				
	木工制作I○	3	3				
	木工制作II○	6		6	6		
	インテリア史○	1		1	1		
	工芸制作○	4		4			
	課題研究○	4				4	4
	工芸研究○	4				4	
小計			28	28	28	28	28
総合的な学習の時間			1	1	1	1	1
ホームルーム活動			1	1	1	1	1
合計			30	30	30	30	30

※「○」を付した科目は学校設定科目である。

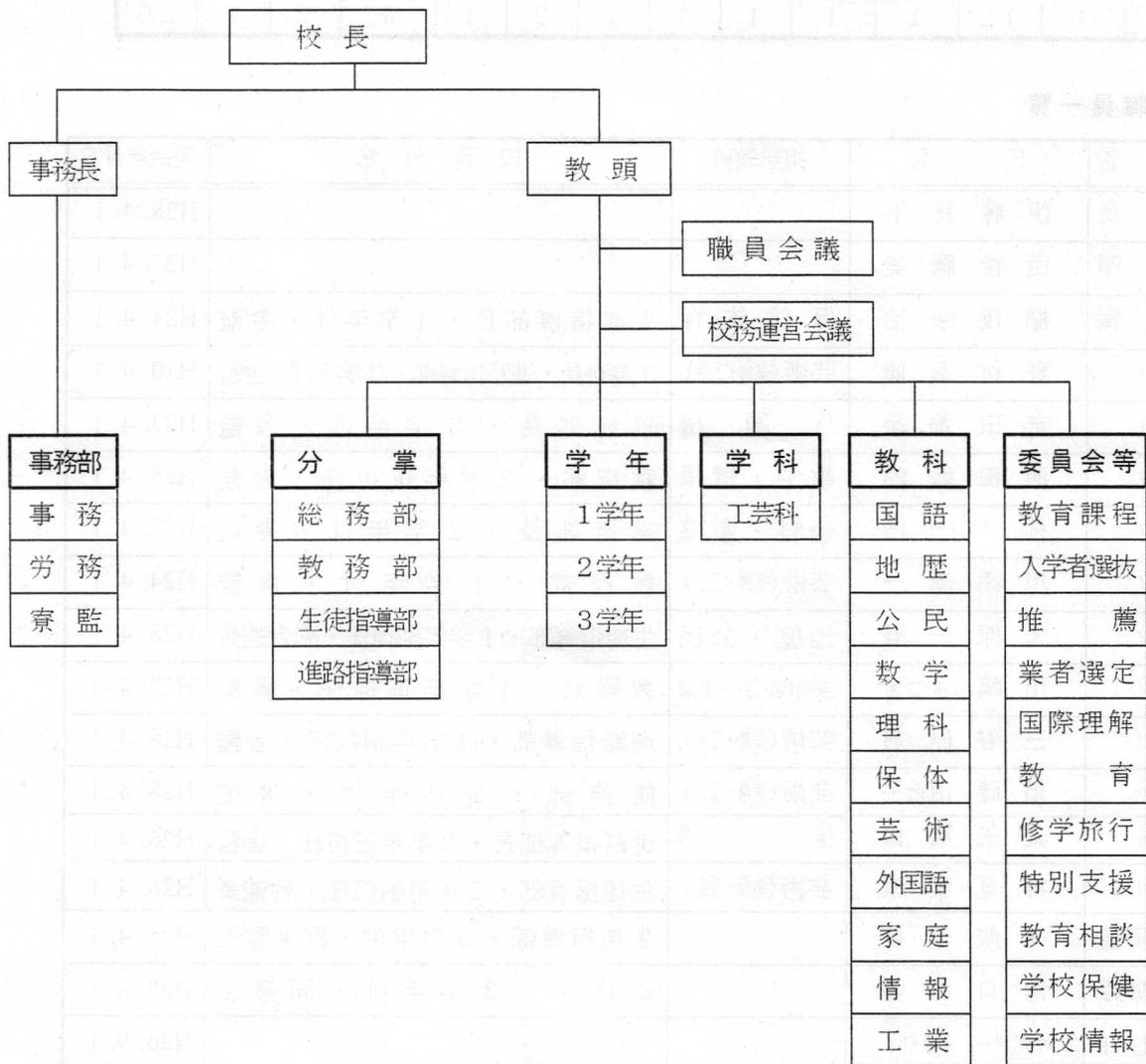
## 2 平成28年度 学年別教育課程表

教科	科目	標準単位数	1年	2年		3年	
			共通	工芸	美術	工芸	美術
国語	国語総合	4	2	2	2		
	国語表現	3				3	3
地理歴史	世界史A	2				2	2
	地理A	2		2	2		
公民	現代社会	2	2				
数学	数学I	3	2	2	2		
	数学A	2				2	2
理科	化学基礎	2	2				
	生物基礎	2		2	2		
	地学基礎	2				2	2
保健体育	体育	7~8	2	2	2	3	3
	保健	2	1	1	1		
芸術	美術I	2	2				
	工芸I	2	2				
英語	コミュニケーション英語I	3	2	2	2		
	英語表現I	2				3	3
家庭	家庭基礎	2	2				
情報	社会と情報	2		2	2		
工業	工業技術基礎	2~4	4				
美術	素描	2~6			1		1
	絵画	2~4			3		
芸術	美術研究	○ 4					4
工芸	図法・製図	○ 5	1	2	2	2	2
	木材理論	○ 1	1				
	木工制作I	○ 3	3				
	木工制作II	○ 6		6	6		
	インテリア史	○ 1		1	1		
	工芸制作	○ 4		4			
	課題研究	○ 6				6	6
	工芸研究	○ 5				5	
小計			28	28	28	28	28
総合的な学習の時間			1	1	1	1	1
ホームルーム活動			1	1	1	1	1
合計			30	30	30	30	30

※「○」を付した科目は学校設定科目である。

# 組織及び構成

## 1 組織機構図



## 2 各種委員会の役割

委員会名	役割	主管
教育課程	教育課程の点検、改善を審議	教務
入学者選抜	入学者選抜における原案作成や準備業務	教務
推薦	就職・進学に関して推薦要件の確認、選定	進路指導
業者選定	公正・適正な業者見積の選定	事務
寮と学校の情報交換	学校と寮職員との生徒情報の交換	生徒指導
国際理解教育	国際理解教育の方針、派遣選考、受入対応、諸準備	総務
修学旅行	宿泊研修及び見学旅行の計画、役割分担等	総務
特別支援・教育相談	発達障害や精神面での支援が必要な生徒への対応検討	生徒指導
学校保健	心身の健康を守り、安全・安心の確保づくりの推進	生徒指導
学校情報	校内情報施設、設備、備品、システムの管理と運用	総務
いじめ対策	学校における健康課題の研究協議、健康づくりの推進	教頭

### 3 教職員の構成

校長	教頭	教諭	養護教諭	実習助手	事務長	事務生	公務補	寮監	寮監補	寄宿舎指導員	寮職員	賄管理人	計
1	1	12	1	1	1	1	1	2	1	1	2	1	26

### 4 教職員一覧

職名	氏名	担当教科	校務分掌	発令年月日
校長	伊藤良平			H28. 4. 1
教頭	西後勝美			H27. 4. 1
教諭	棚橋栄治	保健体育	生徒指導部長・1学年付・舎監	H21. 4. 1
〃	野村幸伸	芸術(美術・工芸)	工芸科長・進路指導部・2学年付・舎監	H10. 4. 1
〃	吉田香織	外国語	教務部長・3学年付・舎監	H23. 4. 1
〃	池田教朗	数学・情報	教務部・2学年正担任・舎監	H25. 4. 1
〃	林一浩	理科・家庭	総務部長・2学年付・舎監	H27. 4. 1
〃	川添龍一	芸術(美術・工芸)	教務部・1学年付・舎監	H24. 4. 1
〃	大原一毅	地歴・公民	生徒指導部・1学年副担任・副舎監長	H28. 4. 1
〃	川崎さつき	芸術(美術・工芸)	教務部・1学年正担任・舎監	H27. 4. 1
〃	三谷佳典	芸術(美術・工芸)	進路指導部・3学年副担任・舎監	H28. 4. 1
〃	須藤由希子	芸術(美術・工芸)	総務部・2学年付・舎監	H28. 4. 1
〃	碓矢真由	国語	進路指導部長・3学年正担任・舎監	H25. 4. 1
〃	押見栞奈	芸術(美術・工芸)	生徒指導部・2学年副担任・舎監長	H26. 4. 1
養護教諭	南波李佳		生徒指導部・3学年付・副舎監長	H25. 4. 1
実習助手	澤口将達		総務部・3学年付・同窓会	H27. 6. 1
A L T	マデリン・メリー			H26. 9. 1
事務長	山崎彰俊			H27. 4. 1
事務生	横山康子			H25. 4. 1
公務補	辻本博美			H23. 4. 1
寮監	永井満			H23. 4. 1
寮監	北原貴志			H26. 4. 1
寮監補	今井良一			H18. 4. 1
寄宿舎指導員	執行伸枝			H18. 4. 1
寮職員	神野隆敏			H23.11. 1
寮職員	伊藤友紀			H28. 4. 1
賄管理人	加藤友幸			H28. 4. 1
校医	三好義範			H25. 4. 1
歯科医	松尾徹也			H24. 9. 1

# 生徒状況

## 1 生徒出身地別人数 (平成28年4月9日現在)

	1年		2年		3年		管内		
	男	女	男	女	男	女	管内名	男	女
札幌市	3	3	4	5	2	4	石狩	10	20
当別町		1		1					
江別市		2		1		1			
小樽市		1			1				
赤井川村						1	後志	1	2
余市町						1			
せたな町					1		檜山	1	0
岩見沢市				2					
美唄市		1					空知	2	2
長沼町					1				
旭川市	3	5	5	1		4	上川	18	18
鷹栖町	1		1		1				
美瑛町					1				
中富良野町		1			1				
上富良野町		1		2					
東川町	1			1					
東神楽町						1			
剣淵町	1								
愛別町			1						
士別市	1					1			
名寄市						1			
美深市					1				
稚内市				1					
中頓別町			1						
幌延町		1				1			
枝幸町				1		1			
利尻富士町	1								
湧別町					1		オホーツク	3	2
大空町		1							
雄武町					1				
斜里町	1					1	胆振	0	1
苫小牧市						1			
帯広市		1					十勝	2	6
標茶町				1					
池田町				1		1			
清水町						1			
浦河町						1			
足寄町	2						釧路	0	2
釧路市						1			
浜中町		1					道外	7	11
秋田県		1							
山形県					1				
新潟県					1				
群馬県					1				
栃木県		1							
東京都			1	2		1			
神奈川県			1			1			
京都府			1						
大阪府				1					
愛知県		1		1					
兵庫県		1		1					
山口県					1				
大分県				1					
合計	14	26	14	23	16	23	116		

2 生徒数（平成28年4月9日現在）

	1年	2年	3年	合計
男子	14	14	16	44
女子	26	23	23	72
合計	40	37	39	116

## 進路状況

（平成17年度卒業生以降）

年 度		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
進 学	四年制大学	6	10	7	10	8	11	17	14	14	11	11
	短期大学	2	3	3	0	2	2	2	2	0	1	0
	各種学校	12	7	9	10	17	10	9	12	14	14	11
	その他	0	0	0	0	2	2	2	4	0	2	0
	未 定										1	3
	(小 計)	(20)	(20)	(29)	(20)	(29)	(25)	(30)	(32)	(28)	(29)	(25)
職	木材・工芸関係	0	3	3	1	2	2	3	0	1	2	2
	販売・製造等	3	1	0	1	2	4	2	3	0	0	1
	公務員（含自衛隊）	1	0	0	1	0	1	1	2	2	3	3
	サービス・飲食店関係	4	1	0	1	0	2	0	0	3	1	1
	福祉施設関係	1	0	0	1	0	1	1	0	1	0	1
	運 輸 業	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	そ の 他	1	3	0	1	2	1	1	1	0	1	1
	未 定	0	1	2	5	0	0	2	1	2	1	2
	(小 計)	(11)	(9)	(5)	(11)	(6)	(11)	(10)	(7)	(10)	(8)	(11)
合 計	31	29	24	31	35	36	40	39	38	37	36	

## 卒業生総数

男子1,039名 女子569名 合計1,608名（平成28年3月1日現在）



# 各分掌の経営計画

## <総務部>

### 1 活動目標

校務の円滑な運営を行うとともに、学校業務のスリム・健全化を推進する。

### 2 今年度の重点課題

- (1) 業務の円滑な遂行、及び校務のスリム化
  - ・ 各種委員会及び分掌業務等の整理と推進
  - ・ 校務運営システム活用へ向けた校務の推進
- (2) 実態に即した、戦略的な生徒募集の展開
  - ・ 「生徒の育ち」、「本校ならではの学び」を紹介
  - ・ Web ページ、ブログ、パンフレット等での本校の学びの見える化
  - ・ 木の手づくり展等における活動展示の促進

### 3 課題解決の方策

- (1) 各種校務の整理
  - ・ 校内研修会の実施などによる校内の問題点の共有化
  - ・ 各種業務の整理と人員の整備
  - ・ 校内業務についての内規の見直し
- (2) 取り組みの検証作業
  - ・ 校内研修会による生徒募集の在り方提示と方針の共有化
  - ・ 学校評議員等からの助言をもとにした改善策の推進
  - ・ 機動性を重視した取り組み

### 4 各種委員会

委員会名	林	須藤	澤口	主管
校務運営会議	◎			総務部
教育課程委員会	●			教務部
国際理解教育委員会		◎		総務部
修学旅行委員会	◎			総務部
入学者選抜委員会	○	●		教務部
業者選定委員会	○			事務長(校務運営会議)
学校情報委員会			◎	総務部

◎：委員のとりまとめ役 ○：分掌から選出する委員 ●：分掌以外で割り当たった委員

### 5 業務一覧表

業務	担当者	主な業務	他分掌等との関わり
庶務 校務整理・改善 校務運営会議 年間行事予定・月行事予定 儀式的行事 年度末・年度初の業務整理 学校要覧・教育計画 反省会議 (中学校訪問)	林 林 林 林 林 林	校務整理・改善 議題整理・運営  入学・卒業式、始終業式 職員室机ロッカーの配置 全体立案 会議の企画・取りまとめ	校務運営会議 校務運営会議
生徒募集、 木の手づくり展 一日体験入学 情報発信	澤口・林 須藤・澤口・林 須藤・澤口	ガイダンス資料、要項 HP、ブログ、パンフ更新	工芸科との連動 工芸科との連動 学校情報委員会
特色ある取組 高大連携事業 国際理解教育 修学旅行計画	林・澤口 林・須藤 林	デザインスクール 選考・派遣・受入 宿泊研修・見学旅行	工芸科との連動 国際理解教育委 修学旅行委
渉外・PTA PTA (学校祭含む) 体育文化庶務 地区別懇談会 発送文書 学校間連携	林・須藤・澤口 林・須藤・澤口 林・須藤 林・須藤・澤口 林・澤口	連携事業の調整等	生徒指導部との連動   工芸科と調整し進める

校務支援システム 校内情報管理	校務・教務支援システムの運用 校内ネットワーク・サーバー管理 コンピュータ室備品・図書管理 配布物のPDF・リスト化作業 学校代表メール管理	林 澤口 澤口 林・須藤・澤口 林・須藤・澤口	支援システムの基本設定  書籍購入、蔵書管理	学校情報委  生徒指導部(図書委員会)
校内管理	校内安全点検 掲示物等管理 各種備品管理	林 須藤・澤口 須藤・澤口	ポスターの校内掲示など カメラなどの備品管理	教頭

## 6 年間計画

	月	共通の会議・行事等	業務
前期	4	年度初職員会議 校務運営会議、職員会議 「生徒募集指針」決定	前期始業式、入寮式、入学式、PTA・体文総会、 見学旅行結団式、生徒募集年間計画・実施要項、 年間行事計画確定、見学旅行、全校集会(GW前)、 発送文書とりまとめ(地区懇文書)
	5	校務運営会議・職員会議 第1回入学者選抜委員会 教育課程委員会	全校集会(GW明け)、生徒募集資料準備、 地区別懇談会準備 学校要覧・教育計画発行
	6	校務運営会議・職員会議 学校教育指導(1次) 教育課程委員会	宿泊研修、地区別懇談会、木の手づくり展(旭川)、 生徒募集パンフレット発行、学校祭宿泊とりまとめ開始、 (中学校訪問)
	7	校務運営会議・職員会議 学校祭	村民運動会、学校祭保護者懇親会、全校集会(夏休み前)、 発送文書とりまとめ、一日体験入学実施要項、 学校案内送付
	8	校務運営会議・職員会議	学校案内資料送付準備 木の手づくり展(札幌) 全校集会(夏休み明け)
後期	9	校務運営会議・職員会議 中間反省会議(分掌打合) 中間反省会議 全校集会	高大連携教育(テサ+インスクール)、一日体験入学準備 地区別懇談会実施要項、中間反省会議取りまとめ 全校集会(前期終業式)、 発送文書とりまとめ(地区懇文書)
	10	校務運営会議・職員会議 一日体験入学	国際理解教育生徒派遣、全校集会(後期始業式) 地区別懇談会準備、一日体験入学準備
	11	学校教育指導(2次) 校務運営会議・職員会議	地区別懇談会 国際理解教育帰国報告会
	12	校務運営会議・職員会議	全校集会(冬休み前)、発送文書とりまとめ
	1	校務運営会議・職員会議	卒業式実施要項、全校集会(冬休み明け)、 年間行事計画作成準備
後期	2	校務運営会議・職員会議 年度末反省会議 学校評議員会 入学者選抜(推薦)	卒業式案内発送(3学年) 卒業式準備、卒業式予行 PTA体文役員会
	3	校務運営会議・職員会議 入学者選抜(一般) 入学者選抜(二次募集) 年度末反省会議	卒業証書授与式 高大連携教育 新年度年間行事計画 入学式実施要項 修了式 発送文書とりまとめ(1・2年)

## 7 達成目標(評価の視点)

- ・ 内規の見直し等を行い、業務整理を進めたか
- ・ 教職員で問題を共有し、校務の改善を進めたか
- ・ 実態に即した募集活動を行うことが出来たか

## <教 務 部>

### 1 活動目標

校務の円滑な運営を行うとともに、学校業務の効率化・健全化を推進する。

### 2 今年度の重点課題

- (1) 生徒の学力向上
  - ・ 本校の目指す教育及び学力を明確にし、「思考力・判断力・表現力」を育成するための指導方法及び評価方法の工夫研究
  - ・ 生徒一人ひとりに対応した、自ら学ぶ意欲を喚起する教育の実践（教材開発、T Tの工夫、言語活動の充実）
- (2) 教務的業務の円滑な遂行、及び校務の効率化
  - ・ 各種委員会及び他分掌との連携・協働
  - ・ 教務内規の検討
- (3) 本校の実態と教育目標に沿った教育課程の構築
  - ・ 教育課程の研修

### 3 課題解決の方策

- (1)
  - ・ 学習指導の研究・改善を図る（「学びの系統性」を意識し、目標を明確化して実施する）。
  - ・ 観点別評価を意識した教育活動の展開、及び指導と評価の一体化によるマネジメントサイクルを運用する。
  - ・ 授業研究、指導と評価の一体化等研修の充実を推進する。
- (2)
  - ・ 諸活動の効果検証活動を行い、工夫改善を重ねる。
  - ・ 校内研修会の実施による校内の問題点の共有化
- (3)
  - ・ 教育課程委員会を中心とし、他の専門科校の教育課程も参考にし、多角的に検証し改善する。

### 4 各種委員会

委 員 会 名	吉田	川添	池田	川崎	主 管
教育課程委員会	◎	○			教務部
入学者選抜委員会	◎	○			教務部
推薦委員会	○				進路指導部
業者選定委員会	○				事務
修学旅行委員会			○		総務部
教育相談委員会		○			生徒指導部
いじめ対策委員会	○				教頭

◎：委員のとりまとめ役 ○：分掌から選出する委員

### 5 業務一覧表

業 務		担当者	主な業務	他分掌等との関わり
総括 庶務	教育課程	吉田	作成指示、点検 転出入、証明書発行等 規程の運用、細則整備	工芸科との連動  ○教育課程委(吉田・川崎) 工芸科との連動 校務運営会議との連動 ○推薦委・業者選定委・ いじめ対策委・学校評 議委員会(主任)
	指導要録	吉田・他		
	公文書	教頭・吉田		
	教務規程・在籍管理	吉田		
	教育課程表(A・B表)	吉田		
	学校設定教科・科目の申請	吉田		
	教育計画・学校要覧	吉田		
	選択科目、コース制・教育カレンダー	吉田・川崎		
	諸表簿(発注・集配)	吉田		
	教育課程表(C・D表)	吉田		
学 習 指 導 庶 務	学習指導	池田・吉田	研修・学力向上対策総括 (キャリア計画を元に)  考査出題内容研修会  (キャリア計画を元に)	※前期中間考査終了後
	行事・総学計画	池田・吉田		
	シラバス作成	池田・吉田		
	学力等実態調査・学力向上対策 (授業に関するアンケート)	川添・池田 川崎・池田		
	LHR(キャリア)	吉田・川崎		
	教科書・副教材	川崎・池田		
	考査・成績処理	池田・川添		

時間割	日課管理 時間割作成 授業変更・時数統計	吉田・川添 川添・川崎 池田・川崎	基本時間割 週時間割・時数統計	
研修	研修 資料収集 教育実習	川添・吉田 吉田・川添 吉田・川添	校内外研修・初任者研 研修資料収集・視察	※研究指定校事業等
入学者選抜	推薦入試・一般入試・二次募集	吉田・川添ほか		○入学者選抜委(吉田)

## 6 年間計画

	月	共通の会議・行事等	業務内容
前期	4	年度初職員会議 校務運営会議、職員会議 〜教育課程委員会(方針)	入学者選抜結果状況報告、基本時間割作成、LHR計画、 道徳教育計画、特別活動・総合的な学習の時間計画、 新入生オリエンテーション、ガイダンス、学力実態調査、 CD表・学校目標提出、シラバス作成
	5	校務運営会議・職員会議 第1回入学者選抜委員会、教育課程委員会	教育課程審議
	6	校務運営会議・職員会議 学校教育指導(1次) 前期中間考査 教育課程委員会	教育実習 コース選択ガイダンス、考査出題内容研修会、 単票提出・一覧表提出、成績会議資料作成・成績会議、 授業改善研修会実施(校内研修)
	7	校務運営会議・職員会議	教科書採択
	8	校務運営会議・職員会議	コース選択希望調査
	9	校務運営会議・職員会議、前期末考査 中間反省会議(分掌打合せ) 中間反省会議	単票提出、一覧表提出、成績会議資料作成、成績会議 成績不振者・欠席超過者指導
後期	10	校務運営会議・職員会議	入学者選抜要項作成 (教育実習)
	11	学校教育指導(2次) 校務運営会議・職員会議 後期中間考査	第2回入学者選抜委員会、 単票提出、一覧表提出、成績会議資料作成
	12	校務運営会議・職員会議	成績会議 欠時超過者補充、入学者選抜業務、 準教科書・副教材採択
	1	校務運営会議・職員会議 学年末考査(3学年)	入学者選抜業務、 単票提出、一覧表提出(3学年)
	2	校務運営会議・職員会議 年度末反省会議 学校評議員会 入学者選抜(推薦) 学年末考査(1・2学年)	成績会議資料作成、卒業認定会議、入学者選抜業務 単票提出、一覧表提出、成績会議資料作成、 学力実態調査(学年末考査後)
	3	校務運営会議・職員会議 進級認定会議 入学者選抜(一般) 入学者選抜(二次募集)	諸表簿・指導要録等点検(3年) 会議資料作成・成績不振者・欠時超過者指導 学年末時数統計処理、A・B表提出、 指導要録点検(1・2年)、入学者選抜業務、入学者選抜報告

## 7 達成目標(評価の視点)

- (1) 授業研究及び観点別評価を意識した教育活動を推進できたか
- (2) 各種委員会及び他分掌と協働し、反省と行事評価を活かした校務の効率化を図れたか
- (3) 本校の実態・教育目標に沿い、生徒の自己実現に与する教育課程の編成ができたか

## <生徒指導部>

### 1 活動目標

- (1) 生徒の安全と基本的生活習慣の定着を図り、健康な学校生活を育成する。
- (2) 主体的で自律的な生徒の活動、寮生活を支援する。

### 2 今年度の重点課題

- (1) 安全で健全な生活の育成、基本的生活習慣の定着。
  - ・ 規範意識と向上心、社会人の基礎力としての社会性の育成。
  - ・ 生命を大切にし、主体的に心身を鍛える生徒の育成。
  - ・ 清掃美化や施設の保全に意欲的に取り組める生徒の育成。
- (2) 多面的な生徒理解を深める。
  - ・ カウンセリング機能、生徒対話の強化。
  - ・ 校内外での生活、学習、心身の健康状態の理解と、教職員間の情報共有。
- (3) 主体的、自律的な生徒活動の保証。
  - ・ 主体性、責任、自律を目指した生徒会活動、寮生会活動の育成。
  - ・ 計画と達成像の明確化。

### 3 課題解決の方策

- (1) 各規則、指導方針、目指す姿を明示し、生徒間に理解を進める。
  - ・ 集団生活に大切な規範と個人の希望を峻別して意識させる。
- (2) 業務整理に取り組み、生徒対話、家庭との連携を深める。
  - ・ さまざまな場面での生徒観察、情報、指導経過等を発信し共有する。
- (3) 逐次分掌部会をもち情報共有と意見交換、改善案の検討を進める。
  - ・ 諸活動それぞれの活動計画を把握し、内容の相互理解を進める。

### 4 分掌構成・業務分担・各種委員会

#### 《分掌構成・業務分担》

業務	役職	担当者
生徒指導	部長	棚橋栄治
	部員	押見栞奈・大原一毅・南波李佳
寮務	寮監	永井 満・北原貴志
	寮監補	今井良一
	寄宿舎指導員	執行伸枝
	寮職員	神野隆敏・伊藤友紀
	賄管理人	加藤友幸・加藤みゆき
	舎監長	押見栞奈
	副舎監長	南波李佳・大原一毅

#### 《各種委員会》

委員会名	担当者				主管
	棚橋	押見	大原	南波	
入学者選抜委員会				○	教務部
国際理解教育委員会		○			総務部
修学旅行委員会	○				総務部
特別支援教育相談委員会	○			○	生徒指導部
学校情報委員会			○		総務部
いじめ対策委員会	○			○	教頭

### 5 業務一覧表

係	業務内容	担当者	他分掌等との関わり
総括庶務	年間計画と個別計画の作成 校外関係機関との連携 生徒指導心得の作成 オリエンテーションに関する事項 他	棚橋 棚橋 棚橋 棚橋	教務 生指協、警察等 教務、学年

生活指導	校外内における基本的な生活習慣の育成 生徒心得の指導と検討 非行事故の未然防止指導 巡視指導の計画	棚橋 他 棚橋 棚橋 他 棚橋	村教推会
	各種講座の企画 ・薬物乱用防止・交通安全・防犯 ・ネットモラルおよび携帯電話利用マナー	棚橋 他	医療・警察他 通信関係
保健環境	学校保健安全指導の計画作成 校外内の清掃と清掃計画の指導	南波 南波	
特別支援	村教育推進協議会特別支援部会への参加	南波	村教推会
生徒会指導	生徒会活動、執行部指導 部活動の企画推進指導	大原・棚橋 大原・棚橋	教務・総務
	保健委員会； 保健委員会の指導	南波	執行部・学級
	生活委員会； 生活委員会の指導	棚橋	
	図書委員会； 図書委員会の指導	押見	
寮務	施設管理	永井・北原	村教育委員会
	生活指導全般	永井・北原 今井・執行	指導部・学年情 報交換会
	寮清掃	神野・伊藤	等
	食事	加藤	
	寮生会指導	押見・南波・大原	生徒指導
	舎監	全教諭	

## 6 生徒指導年間計画

	月	共通の会議・行事等	生活・特別支援	生徒会指導	保健環境	寮務
前期	4	年度初職員会議 校務運営会議、職員会議	身だしなみ点検 オリエンテーシ ョン 校内巡視開始	対面式	定期健康診断 始業前大掃除 見学旅行前健康相 談(3年)	入寮式 オリエンテーシ ョン
	5	校務運営会議・職員会議 第1回入学選抜委員会 教育課程委員会	身だしなみ点検 スクールカウ ンセラー来校 (以後毎月)	生徒総会/高体 連壮行会	定期健康診断 宿泊研修前健康相 談(1年)	春季休業 新入生歓迎会
	6	校務運営会議・職員会議 学校教育指導(1次) 教育課程委員会	夏服 クリーンおとい ねっぶ①	学校祭準備/(生 徒総会)	歯の衛生週間	3年生寮生レク 2年生寮生レク
	7	校務運営会議・職員会議	交通安全・防犯 ・薬物乱用防止 講話	学校祭	クリーンおとい ねっぶ 休業前大掃除	第1回、第2回 匠号バスツアー 夏季休業
	8	校務運営会議・職員会議	身だしなみ点検 クリーンおとい ねっぶ②			夏季休業(帰寮)
後期	9	校務運営会議・職員会議 中間反省会議(分掌打合) 中間反省会議		役員選挙	デザインスクール 前健康相談(3年) 競歩前健康相談	1年生寮生レク 避難訓練
	10	校務運営会議・職員会議	身だしなみ点検 (冬服期間)		目の愛護デー	秋季休業 留学生歓迎式
	11	学校教育指導(2次) 校務運営会議・職員会議				寮生総会 第3回匠号バス ツアー 寮祭
	12	校務運営会議・職員会議	自動車免許取得 のガイドライン	体育祭	休業前大掃除 工芸棟大掃除 赤ちゃんとのふれ あい体験学習 (3年)	寮生会役員選挙 冬季休業
	1	校務運営会議・職員会議	身だしなみ点検	次年度学校祭準 備	性教育講話(2年)	冬季休業(帰寮) 3年生を送る会
2	校務運営会議・職員会議 年度末反省会議 学校評議員会 <b>入学者選抜(推薦)</b>	スクールカウ ンセラー来校③		入選前大掃除 卒業式前大掃除	家庭学習 (3年生帰省)	
3	校務運営会議・職員会議 <b>入学者選抜(一般)</b> <b>入学者選抜(二次募集)</b>	身だしなみ点検	卒業生教室装飾	年度末大掃除	学年末休業 (帰省)	

7 学校保健安全計画

	保健目標	学校保健 関係行事	保 健 管 理		保 健 教 育	学 校 安 全
			心身・生活	環 境	保健指導	安全管理・教育
4	健康診断を受け、健康の状態を把握しよう	・定期健康診断 ・始業前大掃除 ・見学旅行前健康相談(3年) ・見学旅行	・保健調査 ・健康観察の確認と実施 ・健康相談 ・健康診断の計画と実施と事後措置 ・疾病異常者の健康相談と生活指導	・清掃計画配布 ・日常点検の励行(1年間) ・大掃除の実施状況の点検	・健康診断の受け方 ・保健室の利用の仕方	・学校環境の安全点検 ・救急体制の確立 ・登校指導 ・JR乗車指導
5	疾病予防と早期発見に努めよう	・定期健康診断 ・宿泊研修前健康相談(1年) ・スクールカウンセラー	・健康観察の実施 ・健康相談 ・健康診断の実施と事後措置 ・疾病異常者の健康相談と生活指導		・望ましい生活リズム ・心身の健康	・学校環境の安全点検 ・交通安全指導 ・寮避難訓練 ・校外巡視
6	生活習慣を確立しよう	・歯の衛生週間 ・宿泊研修 ・地区別懇談会 ・携帯マナー教室 ・スクールカウンセラー	・健康観察の実施 ・健康相談 ・歯みがき指導 ・食中毒・感染症予防 ・熱中症予防 ・職員の健康診断		・歯肉炎の予防 ・手洗いうがいの励行 ・食中毒の予防	・学校環境の安全点検 ・避難訓練 ・校外巡視
7 8	自主的な健康管理に努めよう	・村民運動会 ・学校祭 ・休業前大掃除 ・工芸棟大掃除 ・薬物乱用防止、交通安全、防犯教室 ・スクールカウンセラー	・健康観察の実施 ・健康相談 ・夏休みの健康生活指導と健康管理 ・村民運動会救護 ・夏休みの健康調査 ・治療勧告	・大掃除の実施状況の点検 ・清掃用具の点検 ・古紙回収	・夏季における心身の健康 ・熱中症予防	・学校環境の安全点検 ・学校祭の安全対策 ・食中毒の防止 ・長期休業前の生活指導 ・JR乗車指導 ・校外巡視
9	応急手当の方法を身につけよう	・デザインスクール前健康相談(3年) ・デザインスクール ・競歩記録会前健康相談 ・競歩記録会 ・スクールカウンセラー	・健康観察の実施 ・健康相談 ・疾病治療状況の把握 ・手洗い、うがいの励行		・障害の防止 ・応急手当の方法と実践	・学校環境の安全点検 ・寮避難訓練 ・競歩記録会の安全対策 ・校外巡視
10	目の健康について考えよう	・目の愛護デー ・スクールカウンセラー	・健康観察の実施 ・健康相談		・目によい生活	・学校環境の安全点検 ・長期休業前の生活指導 ・JR乗車指導 ・校外巡視
11	冬の健康管理をしっかりとしよう	・スクールカウンセラー	・健康観察の実施 ・健康相談 ・かぜやインフルエンザの予防		・インフルエンザの予防 ・手洗い、うがい	・学校環境の安全点検 ・冬の交通安全指導 ・校外巡視
12	寒さに向けての体力増強をはかろう	・体育祭 ・休業前大掃除 ・工芸棟大掃除 ・赤ちゃんとのふれあい体験学習  (3年)	・健康観察の実施 ・健康相談 ・かぜ、インフルエンザの罹患状況把握 ・室内の換気及び手洗い ・うがいの励行 ・冬休みの健康生活指導	・大掃除の実施状況の点検 ・清掃用具の点検	・インフルエンザの予防 ・冬休みの生活	・学校環境の安全点検 ・長期休業前の生活指導 ・JR乗車指導
1	健康を意識した生活をしよう	・スクールカウンセラー ・性教育講話(2年)	・健康観察の実施 ・健康相談 ・冬休みの健康調査 ・治療勧告 ・かぜ、インフルエンザの罹患状況把握		・インフルエンザの予防	・学校環境の安全点検 ・校外巡視

2	心身の健康 生活を実践 しよう	・入選前大掃除 ・卒業式前大掃除 ・スクールカウンセラー	・健康観察の実施 ・健康相談 ・かぜ、インフルエンザの罹患状況把握 ・室内の換気及び手洗い ・うがいの励行	・大掃除の実施状況の点検	・冬の体力と栄養	・学校環境の安全点検 ・校外巡視
3	1年間の生活を振り返り反省しよう	・年度末大掃除 ・工芸棟大掃除	・健康観察の実施 ・一年間の健康生活の反省 ・春休みの健康管理・生活指導 ・新年度の計画	・保健室の整備 ・学校環境衛生検査結果等のまとめと次年度への課題整理 ・大掃除の実施状況の点検 ・清掃用具の点検	・1年間の健康生活の反省	・学校環境の安全点検 ・JR乗車指導

## 8 達成目標（評価の視点）

### (1) 生活指導・特別支援

- ・ 基本的生活習慣の改善ができたか。
- ・ 教職員間における情報と指導意識の共有ができたか。
- ・ 生徒個々に目を向けた指導ができたか。
- ・ 講座が有意義なものであったか。

### (2) 生徒会、寮生会指導

- ・ 各行事、事業の充実に向けた指導ができたか。
- ・ 生徒会、寮生会の活動が主体的なものであったか。
- ・ 予算の執行が的確であったか。

### (3) 保健・環境

- ・ 生徒が主体的に健康管理や安全確保に努める姿勢を育成できたか。
- ・ 生徒が主体的に清掃に取り組み、環境衛生の意識を向上することができたか。



## <進路指導部>

### 1 活動目標

- (1) キャリア教育の推進による進路実現の充実
- (2) 早期からの計画的な進路指導
- (3) 資格取得の推進

### 2 今年度の重点課題

- (1) 進路意識を高め、キャリア発達課題の達成を目指し自己実現に向けて自発的に努力する態度を育成する。
- (2) 自己理解を深め、個性や能力・適性に依じて進路目標を設定する力を育成する。
- (3) 個に応じた進路開拓や情報収集・発信を図り、進路実現を達成する。

### 3 課題解決の方策

- (1) キャリア教育を踏まえた、教職員全体での3年間に渡る進路活動の確立
  - ・ キャリア発達にかかわる諸能力・基礎的・汎用的能力との関係を明確化した3年間の計画を作成する。
  - ・ 教務部・各学年担任との連携により、LHR・総合学習・高大連携の相互関係を明確化する。
  - ・ 教員へ積極的に進路情報を提供する。
  - ・ 外部組織・講師との連携を行う。
- (2) 進路のしおりの改訂と進路指導室運営の見直し
  - ・ 進路のしおりを活動実施時のワークシート・レポート・カルテとして発行する。
  - ・ 進路室利用方法の明示と生徒への利用を喚起する。
  - ・ 計画的な模擬面接練習、生徒の状況に応じた面談・インターンシップを実施する。
- (3) 模擬試験・検定・進学講習の効果的な運営
  - ・ 検定・模擬試験の年間予定を保護者に送付するとともに生徒にも配付し計画的な受験を促す。
  - ・ 学級担任と教科担任の連携により学習および資格取得への意識の高揚を図る。
  - ・ 模擬試験前後に講習において指導を行い、進路実現に向けた学習活動の定着を図る。

### 4 各種委員会

委員会名	担当者	主管
推薦委員会	碓矢	進路指導部
業者選定委員会	碓矢	事務
修学旅行委員会	三谷	総務部
学校情報委員会	野村	総務部

### 5 業務一覧表

係	業務内容	担当	
庶務	進路指導計画・各種送付文書・進路状況統計・資料作成	碓矢・野村・三谷	
進学	学校連絡・入学願書点検及び指導・模擬面接・進学講習	碓矢・野村・三谷	
就職	職場連絡・履歴書点検及び指導・模擬面接・一般常識問題対策	碓矢・野村・三谷	
渉外	進路開拓(学校、職場訪問等)・進路来客対応	碓矢・野村・三谷・3学年団	
研修	校内研修・校外研修・職業講話・インターンシップ	碓矢・野村・三谷	
環境整備	資料整備(入学案内、求人票等)・相談室整備・掲示物	碓矢・三谷	
奨学金	北海道高等学校奨学会(在学中)に関する業務	野村・三谷	
学年担当	日本学生支援機構(進学後)に関する業務	碓矢・三谷	
	その他の奨学金に関する業務	三谷	
	1学年	1学年LHR資料作成・進路相談計画	川崎・碓矢・三谷
	2学年	2学年LHR資料作成・進路相談計画	池田・碓矢・三谷
3学年	3学年LHR資料作成・三者面談・進路相談計画	碓矢・野村・三谷	

## 6 年間計画

月	第1学年	第2学年	第3学年
目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の思いや意見を適切に伝え、互いに支えわかり合える友人関係を築く力をつける。</li> <li>○自分の能力・適性を理解し、それを伸ばす努力をする。</li> <li>○進路や職業に関する様々な情報を収集・探索し、実現に向けて適切な計画を立てる力を養う。</li> <li>○働くこと・学ぶことの意義を理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の役割や他者の個性を理解し、協働して物事を進める力をつける。</li> <li>○自分の興味・関心や個性を理解し、自分から進んで行動する態度を育てる。</li> <li>○職業についての総合的・現実的な理解にもとづき、自分の将来像を設計し、進路計画を立てる力を育てる。</li> <li>○将来設計に基づいて、今取り組むべき学習や活動を理解し、行動させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○リーダー・フォローシップを発揮して相手の能力を引き出し、チームワークを高める力や態度を育てる。</li> <li>○社会との関わり方を考えながら、自己の職業的な能力・適性を伸ばすよう努力する態度を育てる。</li> <li>○将来設計、進路希望の実現を目指して課題を設定し、その解決に取り組む姿勢を身につけさせる。</li> <li>○生きがい・やりがいがあり自己を活かせる生き方や進路を現実的に考えさせる。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>■新入生オリエンテーション</li> <li>●進路希望調査（連休中）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■進路ガイダンス（見学について）</li> <li>●進路希望調査（春季休業中）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●進路希望調査（春季休業中）</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼公務員模試</li> <li>▲「進路」とは何か「仕事」とは何か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼全統模試 ▼公務員模試</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●進路面談（全員；担任・進路指導主事）</li> <li>●進路適性検査（必要に応じ）</li> <li>▼公務員模試</li> <li>●日本学生支援機構申込（第1回）</li> <li>★進路講話（履歴書の書き方）</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>★自分を見つめる（自己理解）</li> <li>▲地区懇談会 ■進路講話（総合学習）</li> <li>▼公務員模試 ▼英語検定 ▼漢字検定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲進路面談 ▲地区懇談会</li> <li>■進路講話（総合的な学習）</li> <li>▼公務員模試 ▼英語検定 ▼漢字検定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●進路用写真撮影 ★進路の流れ再確認</li> <li>▲地区懇談会 ★出願書類の書き方</li> <li>▼公務員模試 ▼英語検定 ▼漢字検定</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>★各種検定・資格について</li> <li>▼公務員模試</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼公務員模試</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■求人票受付開始 ★就職者説明会</li> <li>■三者面談（夏季休業中）</li> <li>▼公務員模試 ■駿台マーク模試</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>■コース制ガイダンス</li> <li>●進路面談（希望者）</li> <li>▼漢字検定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■職業について考える</li> <li>▼漢字検定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●三者面談（夏季休業中）▼自衛官講習</li> <li>●進路希望調査（夏季休業中）</li> <li>●模擬面接指導（個別）★進学者説明会</li> <li>●就職推薦会議 ●大学AO入試開始</li> <li>▼漢字検定</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>■就職について知る①</li> <li>●進路希望調査（学期間休業中）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●進路希望調査（学期間休業中）</li> <li>■デザインスクール</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★受験に向けて ●模擬面接指導（個別）</li> <li>▼駿台ベネッセマーク模試</li> <li>●前期末考査 ●進学推薦会議</li> <li>●就職応募・採用開始</li> <li>●自衛官・一般書候補生採用試験</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>■就職について知る②</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>★内定・合格後の生活について</li> <li>●模擬面接指導（個別）</li> <li>▼駿台ベネッセ記述模試</li> <li>●専門学校推薦入試開始</li> <li>●大学入試センター試験出願</li> </ul>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲地区懇談会</li> <li>■職業講話</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲地区懇談会</li> <li>■職業講話</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★社会人とは ●模擬面接指導（個別）</li> <li>●大学推薦入試開始</li> <li>●日本学生支援機構申込（第2回）</li> </ul>
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>■進学について考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼駿台全国マーク模試</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●模擬面接指導（個別）</li> <li>■先輩の話を聞く会（2年へ派遣）</li> <li>▼センター試験プレテスト</li> </ul>
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>■先輩の話を聞く会</li> <li>▼英語検定 ▼漢字検定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■先輩の話を聞く会</li> <li>▼英語検定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼英語検定 ▼漢字検定</li> <li>★進路活動の反省</li> <li>●模擬面接指導（個別）</li> <li>●大学入試センター試験</li> <li>●大学一般入試開始</li> <li>■先輩の話を聞く会（1年へ派遣）</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>●進路面談（全員）</li> <li>★進路指導規定について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●進路面談（全員）</li> <li>■面接試験とは①②</li> </ul>	
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼駿台全国マーク模試</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼駿台全国マーク模試</li> <li>●面接指導（全員）</li> <li>★求人票の見方</li> </ul>	

●：行事等 ■総合的な学習 ★：LHRでの指導 ▲：その他 ▼：検定・模試

## 7 達成目標（評価の視点）

- (1) キャリア教育の推進により進路実現が充実したか。
- (2) 早期からの計画的な進路指導ができたか。
- (3) 資格取得が推進されたか。

# 学年・学級経営計画

## 第1学年 学級経営案

担任：川崎 さつき

副担任：大原 一毅

学級目標	初心を忘れるべからず 一步一步、確実に自己を高めていく	
学級経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校・寮生活で基本的な生活習慣を身につけ、自己管理能力と社会性を育む。</li> <li>2. 目標の実現に向けて、仲間と共に支え合い、努力し継続する力を育む。</li> <li>3. 新たな出会いを大切に、他を認め、豊かな人間性を育む。</li> </ol>	
学年目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習指導：自ら課題を設定し、課題解決の方法を追求できる。</li> <li>2. 生徒指導：基本的生活習慣を確立する。</li> <li>3. 進路指導：自己理解を深め、進路目標を意識した行動ができる。</li> <li>4. 健康・安全指導：危険に対する認識を深め、自己管理能力の育成。</li> </ol>	
前期	前期	指導の重点：本校の特色を知り、学校生活における基本的な規則を身につけさせる。
	4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本校の特色を理解するとともに、高校生活での目的意識を持たせる。</li> <li>○高校生活、寮生活の規律の確認及び適応の促進を図る。</li> </ul>
	5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個別面談をおして生徒理解に努める。</li> <li>○基本的生活習慣の確立を図る。</li> </ul>
	6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中間考査への取り組み指導及び事後指導を行う。</li> <li>○宿泊研修をおして、自己理解を深め、他を尊重する集団意識を養う。</li> </ul>
	7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校祭をおして仲間の大切さを理解させると共に、協調性、主体性を養う。</li> <li>○長期休暇の過ごし方指導をする。</li> </ul>
	8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活規律、学習態度の見直しと徹底に努める。身だしなみ指導。</li> <li>○個別面談をおして、生徒理解に努める。</li> </ul>
	9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前期期末考査への取り組み指導及び事後指導を行う。</li> <li>○森林探訪をおして、北海道の木の性質や自然の大切さを理解させる。</li> </ul>
	10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習相談をおして、個々の目標への意識作りを行う。</li> <li>○前期の反省、評価を行い、後期の目標と見通しをもたせる。</li> </ul>
	11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康等の自己管理能力の育成を図る。</li> <li>○進路指導を行い、意識の高揚を図る。</li> <li>○後期中間考査への取り組み指導及び事後指導を行う。</li> </ul>
	12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○長期休暇の過ごし方指導をする。</li> <li>○体育祭をおして、団結することの意義を理解し、クラスの連帯感を高める。</li> </ul>
後期	1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個別面談をおして生徒理解に努める。</li> <li>○3年生を送る会の活動をおして、上級学年になることへの意識作りを行う。</li> </ul>
	2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学年末考査への取り組み指導及び事後指導を行う。</li> <li>○学習相談を通し、個々の目標に向けた具体的な取り組みの指導を行う。</li> </ul>
	3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の適性を理解させ、目標と実現のための見通しを持たせる。</li> <li>○本年度の反省、評価を行い、次年度の計画を立てさせる。</li> </ul>
	達成目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自立した行動をとり、活力に満ちた学校生活を送らせることができたか。</li> <li>2. 学校生活、寮生活における規律を守らせることができたか。</li> <li>3. 基本的生活習慣・学習習慣を定着させることができたか。</li> <li>4. 他を尊重した社会性のある行動をさせることができたか。</li> <li>5. 自己の適性についての理解を促し、進路に対する意識を持たせることができたか。</li> </ol>

## 前期学級組織

学級委員長：谷口 華穂  
 副委員長：伊藤さくら  
 書記：鈴木 花音  
           平館 萌  
 会計：小田かすみ乃  
           田辺 創大

生徒会  
 寮生会

生活委員 池田 珠実 櫻田 航希	保健委員 大澤 花鈴 岡 史敬	図書委員 村田遼太郎 茂呂 優花	選挙管理委員 池邊 刀那 ダイヤーマイガン
------------------------	-----------------------	------------------------	-----------------------------

学習係 板橋 樹 小倉 夕奈 高橋 央馨 長岡 溪汰 吉田菜々子	体育係 越智 柊太 戸川 風美 山本 周	食事係 工藤 隼人 後藤 雅史 櫻井 風土 高山紀久恵 中村 遥 平沢摩阿椰	掲示係 神田 大介 松崎 里織	号令係 関尾 柚帆 三浦 羽奈	庶務係 岩泉いちご 佐藤 那菜 伴野 樹菜
---	-------------------------------	--	-----------------------	-----------------------	--------------------------------

第2学年 学級経営計画

担任：池田 教 朗

副担任：押見 葉 奈

学級目標：LOVE&PEACE																			
学級経営	① 規律ある生活を送るために、自己管理をする力の育成 ② 進路における目標を持ち、その実現に向けて自ら考え行動し、努力し続ける力の育成 ③ 集団生活の中で、他者を認め、自己を見つめ直し、互いに高め合える関係性を作る																		
学年目標	1. 学習指導：計画性を持って、主体的・継続的な学習習慣を確立する 2. 生徒指導：生活習慣の質の向上を目指して主体的に行動する 3. 進路指導：自己理解を深め、進路目標を意識し、それに向けた取り組みを自ら行う 4. 健康・安全指導：自己管理能力の育成と、他者に対する気配りの心を育成する																		
前期 指導の重点：中堅学年としての自覚を持ち、自分を見つめ直し、他と協調して行動する力の育成																			
前期	<table border="1"> <tr> <td>4月</td> <td>○学校・寮のルールを再確認し、中堅学年として自覚・実践させる ○コース制の趣旨を理解し自分の選択した科目を意欲的に取り組ませる</td> <td>・植樹祭 ・高体連大会</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>○全体・個別指導を通して生徒理解に努める ○学習規律の徹底を図る。</td> <td>・前期中間考査 ・村民運動会</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>○中間考査への取り組み指導及び事後指導を行う ○自己の適性や関心について基づいて進路について具体的に考えさせる</td> <td>・木の手づくり展 ・学校祭</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>○学校祭をとおして、協調性を高め、集団のために主体的に行動させる ○長期休暇の過ごし方指導をする</td> <td>・前期末考査 ・高大連携教育</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>○生活規律、学習態度の再確認と徹底に努める ○全体・個別指導を通して生徒理解に努める</td> <td>・デザインスクール ・強歩記録会</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>○前期末考査への取り組み指導及び事後指導を行う ○デザインスクールをとおして美術・工芸の見識を深め意欲を喚起する</td> <td>・前期終業式</td> </tr> </table>	4月	○学校・寮のルールを再確認し、中堅学年として自覚・実践させる ○コース制の趣旨を理解し自分の選択した科目を意欲的に取り組ませる	・植樹祭 ・高体連大会	5月	○全体・個別指導を通して生徒理解に努める ○学習規律の徹底を図る。	・前期中間考査 ・村民運動会	6月	○中間考査への取り組み指導及び事後指導を行う ○自己の適性や関心について基づいて進路について具体的に考えさせる	・木の手づくり展 ・学校祭	7月	○学校祭をとおして、協調性を高め、集団のために主体的に行動させる ○長期休暇の過ごし方指導をする	・前期末考査 ・高大連携教育	8月	○生活規律、学習態度の再確認と徹底に努める ○全体・個別指導を通して生徒理解に努める	・デザインスクール ・強歩記録会	9月	○前期末考査への取り組み指導及び事後指導を行う ○デザインスクールをとおして美術・工芸の見識を深め意欲を喚起する	・前期終業式
4月	○学校・寮のルールを再確認し、中堅学年として自覚・実践させる ○コース制の趣旨を理解し自分の選択した科目を意欲的に取り組ませる	・植樹祭 ・高体連大会																	
5月	○全体・個別指導を通して生徒理解に努める ○学習規律の徹底を図る。	・前期中間考査 ・村民運動会																	
6月	○中間考査への取り組み指導及び事後指導を行う ○自己の適性や関心について基づいて進路について具体的に考えさせる	・木の手づくり展 ・学校祭																	
7月	○学校祭をとおして、協調性を高め、集団のために主体的に行動させる ○長期休暇の過ごし方指導をする	・前期末考査 ・高大連携教育																	
8月	○生活規律、学習態度の再確認と徹底に努める ○全体・個別指導を通して生徒理解に努める	・デザインスクール ・強歩記録会																	
9月	○前期末考査への取り組み指導及び事後指導を行う ○デザインスクールをとおして美術・工芸の見識を深め意欲を喚起する	・前期終業式																	
後期 指導の重点：自己の進路について考え、目標を明確にし、それに向けた一層の努力をする。																			
後期	<table border="1"> <tr> <td>10月</td> <td>○国際理解教育などを通し、コミュニケーション能力の育成を図る ○前期の反省、評価を行い、後期への目標をもたせる</td> <td>・後期始業式 ・寮祭</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>○健康等の自己管理能力の育成を図る ○進路指導を行い、意識の高揚を図る ○後期中間考査への取り組み指導を行う</td> <td>・後期中間考査 ・体育祭</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>○長期休暇の過ごし方指導をする ○体育祭をとおし団結することの意義を理解し、クラスの連携を高める</td> <td>・卒業制作発表 ・学年末考査</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>○全体・個別指導を通して生徒理解に努める ○卒業制作発表をとおして、最上級学年としての意識作りを行う</td> <td>・卒業式 ・修了式</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>○学年末考査への取り組み指導及び事後指導を行う ○進路個別面談を通し、個々の目標を明確にし、学習意欲を喚起する</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>○本年度の反省、評価を行い、次年度への目標を持たせる ○卒業制作や学習課題について考えさせ新年度を迎える意識を形成する</td> <td></td> </tr> </table>	10月	○国際理解教育などを通し、コミュニケーション能力の育成を図る ○前期の反省、評価を行い、後期への目標をもたせる	・後期始業式 ・寮祭	11月	○健康等の自己管理能力の育成を図る ○進路指導を行い、意識の高揚を図る ○後期中間考査への取り組み指導を行う	・後期中間考査 ・体育祭	12月	○長期休暇の過ごし方指導をする ○体育祭をとおし団結することの意義を理解し、クラスの連携を高める	・卒業制作発表 ・学年末考査	1月	○全体・個別指導を通して生徒理解に努める ○卒業制作発表をとおして、最上級学年としての意識作りを行う	・卒業式 ・修了式	2月	○学年末考査への取り組み指導及び事後指導を行う ○進路個別面談を通し、個々の目標を明確にし、学習意欲を喚起する		3月	○本年度の反省、評価を行い、次年度への目標を持たせる ○卒業制作や学習課題について考えさせ新年度を迎える意識を形成する	
10月	○国際理解教育などを通し、コミュニケーション能力の育成を図る ○前期の反省、評価を行い、後期への目標をもたせる	・後期始業式 ・寮祭																	
11月	○健康等の自己管理能力の育成を図る ○進路指導を行い、意識の高揚を図る ○後期中間考査への取り組み指導を行う	・後期中間考査 ・体育祭																	
12月	○長期休暇の過ごし方指導をする ○体育祭をとおし団結することの意義を理解し、クラスの連携を高める	・卒業制作発表 ・学年末考査																	
1月	○全体・個別指導を通して生徒理解に努める ○卒業制作発表をとおして、最上級学年としての意識作りを行う	・卒業式 ・修了式																	
2月	○学年末考査への取り組み指導及び事後指導を行う ○進路個別面談を通し、個々の目標を明確にし、学習意欲を喚起する																		
3月	○本年度の反省、評価を行い、次年度への目標を持たせる ○卒業制作や学習課題について考えさせ新年度を迎える意識を形成する																		
達成目標	1. 他者との関わりの中で、互いを思いやり、支えあう力をつけさせることができたか 2. 校則や寮規則、授業などの規律を意識し、自律した生活を送らせることができたか 3. 目標を設定し、学習・制作に主体的かつ継続的に取り組むよう支援できたか 4. 他を尊重した社会性のある行動をさせることができたか 5. 自己の適性についての理解を促し、進路に対する意識を持たせることができたか。																		

前期学級組織

学級委員長：澁谷 詩音	生徒会	寮生会
副委員長：小林 ゆりか 安東 龍生		
書記：中濱 芽依 三浦 悠輔		
会計：佐藤 拓斗 宮田 茂		

生活委員	保健委員	図書委員	選挙管理委員
宮田 絢乃 村田 琴音	村岡 壘 中道 神那	黒田 真琴 高橋 遼奈	尾田宇太郎 湯藤菜々子

学習係	体育係	食事係	掲示係	号令係	庶務係
鈴木 絵 瀬戸口亜加音 白柳 緋里 寺地凜 鈴木 空大 稲辺みのり 川原 藍梨 今井涼 會田 サキ 川尻舜	稲辺みのり 菊地 竜平 竹村 英 宮田 茂	長尾 匡洋 田村 まう 若月 匠 相田 小春 大城 美瑠 岩間 和	鈴木あゆみ 樋口 朝妃	橋本あゆり 竹村 英	細越 愛未 菊地 竜平

第3学年 学級経営案

担任：碓矢 真由

副担任：三谷 佳典

学級目標：夢を楽しむ！	
学級経営	① 規律ある生活を送るために、自己管理（健康と安全、その他自分に必要な準備）をする力の育成。 ② 目標の実現に向けて自ら行動し・努力し続け、互いに切磋琢磨し合える関係性を作る。 ③ 集団生活の中で、他者を認め、自己を見つめ直し、自分達で生活の質を向上させられる力の育成。
学年目標	1. 学習指導：計画性を持ち、主体的に努力を続け、目標に応じた結果を出す。 2. 生徒指導：向上心を持ち、自らを律し、協調性・コミュニケーション能力を養う。 3. 進路指導：自己理解を深め、自ら夢のために、自分自身に磨きをかける。 4. 健康・安全指導：より良い・充実した生活を送ろうとする意欲と自己管理能力を高める。
前期	前期 指導の重点：進路意識を高め、自己実現に向けて努力する。 4月 ○最上級学年として自覚させる。 ○進路実現を目指した計画と行動を、主体的に取り組ませる。 ○個別面談を通して生徒理解に努め、自己理解を深めさせる。 5月 ○全体・個別指導を通して生徒理解に努め、進路意識の高揚を図る。 ○前期中間考査への取り組み指導を行う。 6月 ○学校祭に向けての指導を行う。 ○就職試験に向けた指導を行う。 7月 ○学校祭に向けての指導を行う。 ○長期休暇の過ごし方を指導する。 ○三者面談を通して進路希望の決定を促す。 8月 ○面接試験に向けた指導を行う。 ○進学に向けた指導を行う。 9月 ○前期末考査への取り組み指導を行う。 ○進学に向けた指導を行う。
	後期 指導の重点：進路実現を達成する。 10月 ○国際理解教育を通してコミュニケーション能力を伸長する。 ○模擬面接を実施する。(個別) 11月 ○後期中間考査への取り組み指導を行う。 ○模擬面接を実施する。(個別) ○進路決定後の心構え指導を行う。 12月 ○卒業制作発表会及び3年間の学びのまとめ活動を行わせる。 ○進路未決定者への指導を行う。(個別) 1月 ○3年間の学習の成果をまとめさせ、卒業後の人生設計を行わせる。 ○学年末考査への取り組み指導を行う。 ○家庭学習期間中の心構えについて指導する。 2月 ○卒業式に向けた指導を行う。 3月 ○卒業式後の生活、社会人としての心構えについて指導する。
	達成目標 1. 計画性をもって学習に臨むとともに、主体的・継続的に学習に取り組むことができたか。 2. 規律を守るとともに、他者と協調して互いに気遣い合う雰囲気を作ろうとしたか。 3. 自他の存在を肯定し、関わりの中で教えあい、学びあい、助けあう姿勢を伸長できたか。 4. 自己の個性、能力適性に即して進路について考え、求められる力を伸長しようとしたか。

前期学級組織

学級委員長	五十嵐 深 紅	生徒会	寮生会
副委員長	ダイヤーヘイデン		
書記	矢三 爽 音		
会計	城守 川 ころこ 宮川 谷 潮 沢谷 田 真之介		

生活委員	保健委員	図書委員	選挙管理委員
石岡 恋 野上 華歩	早川 楓 三浦 快	青山 りか 堀本 宗徳	金野 詩琉玖 福田 光
学習係	進路係	食事係	アルバム係
池田 さやか 伊藤 倭平 大田原 知美 大村 彩華 水橋 亮	上尾 天菜 大橋 美胡 藤原 有彩	池神 鼓 大甕 成生 金丸 翔太郎 黒川 一樹 志村 直也	菊谷 実梨 坂田 空 本間 こおこ
号令係	体育係	掲示係	美化係
岡本 灯偉 小池 天通	大田喜 日向 藤ヶ森 雄大	奥村 紗季 坪田 柚紀	河村 直樹 田川 大樹

# 学科（工芸科）経営計画

## 1 目標

- (1) 美術・工芸の学習体験をとおして、造形体験を豊かにし、造形的な表現と鑑賞の能力を高め、文化の発展に寄与する態度と能力を養う。
- (2) 北海道の木材資源の工芸的活用を図り、地域の振興に寄与する。

## 2 重点課題

- (1) 生徒一人ひとりの個性・想像力を大切にする造形教育の実践を推進する。
- (2) 多様な生徒に対応する教材の開発や指導方法の工夫により、個性を生かした造形教育を推進する。
- (3) 生徒個々の理解度・達成度を的確に捉え、適切な指導を行う。
- (4) 生徒個々の達成状況を段階的に評価・把握した上で、的確に次の目標を設定する。
- (5) 安全教育を徹底する。
- (6) 高大連携・学校間連携の実施と推進をする。
- (7) 教育課程の精選と検討の推進をする。

## 3 課題解決の方策

- (1) チームティーチングによるきめ細かい指導の実践
- (2) 生徒の習得段階に応じた教材の研究
- (3) 生徒個々の制作進度に対応できる個別指導の実践
- (4) 個人の達成目標を明確にした学習方法・評価の研究
- (5) 生徒への安全指導の徹底と継続（工芸棟使用法、機械操作法、止血法、服装頭髪指導等）
- (6) 高大連携・学校間連携の実施と推進に向けた研修
- (7) 教育課程の研修と内容の精選

## 4 業務分担

係	業務内容	担当
庶務	教育計画、木の手づくり展、渉外	○野村、澤口
消耗品・設備・材料管理	予算、消耗品購入および管理、設備の点検・整備・補充、材料購入計画及び管理指導	○野村、澤口
高大連携・学校間連携	高大連携・学校間連携に関わる授業等の計画・連絡調整	○野村、川添
安全教育	安全に関する指導	○川添、澤口
研修	校内研修、校外研修	○川添、澤口
制作支援・デッサン講習	制作支援・デッサン講習の計画と指導	○野村、三谷
各種委員会		担当
教育課程委員会	野村、川添	
入学者選抜委員会	須藤	
国際理解教育委員会	押見、川崎	
修学旅行委員会	三谷	
学校情報委員会	野村	

## 5 年間計画

	月	内 容
前期	4	教育計画、1年用手工工具購入、材料購入計画
	5	※高大連携 2学年「木工制作Ⅱ」ポートフォリオの作り方（東海大学教官による連携授業） ※高大連携 3学年「課題研究」制作の進め方、ポートフォリオ、プレゼンテーションについて（東海大学教官による連携授業）
	6	木の手づくり展（旭川）、森林探訪（1学年） ※高大連携 1学年「木工制作Ⅰ」おもちゃ作りの考え方（東海大学教官による連携授業）
	7	工芸棟大掃除計画
	8	木の手づくり展（札幌）、高文連道北支部美術展（名寄）
	9	※高大連携大学訪問 2学年『デザインスクール』 3日日程（東海大学校舎での連携授業）※インテリア史『名作椅子について』を含む ※高大連携 2学年「木工制作Ⅱ」デザイン制作とプレゼンテーションの方法（東海大学教官による連携授業）
	10	工芸棟大掃除計画、1日体験入学、高文連全道大会（北見）
	11	村文化祭
	12	工芸棟大掃除計画、卒業生作品梱包
後期	1	卒業生作品梱包・発送 卒業制作発表（全学年授業）
	2	
	3	学年末工芸棟大掃除計画

## 6 概要（平成25年度入学生からの教育課程）

### （1）木材理論・インテリア史

- ・ 目 標 生活における工芸の意義を理解させ環境について考える能力を高める。
- ・ 内 容 木 材 理 論…生活における工芸の役割を考え、素材、用法を学ぶ。  
インテリア史…工芸の歴史をとおして作品が持つ様々な要素を考え、制作の方法を学ぶ。

### （2）工業技術基礎

- ・ 目 標 工芸に使用される材料の諸性質及び、審美的な特質について理解させ、制作に必要な材料・工具・機械などを正しく使用し手工工具を用い適切な方法で制作する能力を養う。
- ・ 内 容 工業技術基礎…木材の加工をとおして性質、特性を理解し活用を学ぶ。

### （3）木工制作Ⅰ・木工制作Ⅱ・課題研究

- ・ 目 標 工芸の造形的な創造活動をとおして表現と鑑賞の能力を一層高めるとともに、基礎的・基本的な知識と技術を習得し、工芸の在り方について理解を深める。
- ・ 内 容 木 工 制 作 Ⅰ…付加価値の高い技術性と審美的要素を備えた制作題材を設定し、加工・仕上げの技術を習得させるとともに創造と鑑賞の能力を養う。  
木 工 制 作 Ⅱ…生活に関わりのある家具などに関する基礎的な知識と制作技術を習得させ、実際の生産に活用する能力を養う。  
課 題 研 究…生徒の能力に応じて、生徒自ら美術・工芸において制作題材を設定し、主体性のある構想を練り制作する。

(4) 図法・製図

- ・ 目 標 製図に必要な基礎的な図法を理解させ、形態と図面の関係を明確にし、製図読図の能力を高めるとともに、構想の計画と、表示の能力を養う。
- ・ 内 容 図法・製図…図法の種類と製図の基礎の習得と製図の実習をとおして作図と読図を学ぶ。

(5) 選択科目 (工芸) 工芸制作・工芸研究

- ・ 目 標 基礎基本の積み上げから、主体的に意匠加工を行う力を養う。
- ・ 内 容 工 芸 制 作…課題制作をとおして製品デザインの表現や考え方を学び自ら工夫して制作する力を養う。  
工 芸 研 究…工芸学習のまとめとし習得した技術を制作課題に生かし、自らを表現することをとおして総合的な視野を持つ造形力を養い、鑑賞力と豊かな心を育成する。

(6) 選択科目 (美術) 素描・絵画・美術研究

- ・ 目 標 美術分野における基礎技術の習得と、それらを応用発展させ、総合的に表現する力を養う。
- ・ 内 容 素 描…素描、クロッキー等の基礎的表現技法をとおし空間の感覚および表現する力を養う。  
絵 画…美術における各領域の基礎技法を、制作をとおして学び表現力を高めるとともに、作品制作における構想の力を養う。  
美 術 研 究…油彩画の創造的な諸活動をとおして、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育て、感性と美意識を磨き個性豊かな美術の能力を高める。

7 学習系統について (平成25年度入学生からの教育課程)

		1 学 年	2 学 年	3 学 年
基礎 応用と制作 理論と鑑賞		工業技術基礎 4単位 ・ 工具の手入れ, 使い方 ※美術Ⅰ 2単位 ※工芸Ⅰ 2単位 ・ 金工・ヘーバーナイフ, 陶芸		
		図法・製図 5単位		
		木工制作Ⅰ 3単位 ・ 木製おもちゃのデザイン ・ 制作, 彫刻刀の使い方	木工制作Ⅱ 6単位 ・ 大型機械の使用法 ・ ツール, チェスト	
	工芸		工芸制作 4単位 ・ 半期ごとにコンセプトをたて設計し作品を制作する	工芸研究 5単位 ・ コンセプトをたて設計し作品を制作する
	美術		素 描 1単位 絵 画 3単位	素 描 1単位 美術研究 4単位
	共通			課題研究 6単位 ・ 1年間の制作の計画をたて工芸作品を制作する
	木材理論 1単位	インテリア史 1単位		

※美術Ⅰ, 工芸Ⅰは必履修科目

## 8 概要（平成28年度入学生からの教育課程）

### (1) 木材理論・インテリア史

- ・目 標 生活における工芸の意義を理解させ環境について考える能力を高める。
- ・内 容 木材理論…生活における工芸の役割を考え、素材、用法を学ぶ。  
インテリア史…工芸の歴史をとおして作品が持つ様々な要素を考え、制作の方法を学ぶ。

### (2) 工業技術基礎

- ・目 標 工芸に使用される材料の諸性質及び、審美的な特質について理解させ、制作に必要な材料・工具・機械などを正しく使用し手工具を用い適切な方法で制作する能力を養う。
- ・内 容 工業技術基礎…木材の加工をとおして性質、特性を理解し活用を学ぶ。

### (3) 木工制作Ⅰ・木工制作Ⅱ・課題研究

- ・目 標 工芸の造形的な創造活動をとおして表現と鑑賞の能力を一層高めるとともに、基礎的・基本的な知識と技術を習得し、工芸の在り方について理解を深める。
- ・内 容 木工制作Ⅰ…付加価値の高い技術性と審美的要素を備えた制作題材を設定し、加工・仕上げの技術を習得させるとともに創造と鑑賞の能力を養う。  
木工制作Ⅱ…生活に関わりのある家具などに関する基礎的な知識と制作技術を習得させ、実際の生産に活用する能力を養う。  
課題研究…生徒の能力に応じて、生徒自ら美術・工芸において制作題材を設定し、主体性のある構想を練り制作する。

### (4) 図法・製図

- ・目 標 製図に必要な基礎的な図法を理解させ、形態と図面の関係を明確にし、製図読図の能力を高めるとともに、構想の計画と表示の能力を養う。
- ・内 容 図法・製図…図法の種類と製図の基礎の習得と製図の実習をとおして作図と読図を学ぶ。

### (5) 選択科目（工芸）工芸制作・工芸研究

- ・目 標 基礎基本の積み上げから、主体的に意匠加工を行う力を養う。
- ・内 容 工芸制作…課題制作をとおして製品デザインの表現や考え方を学び自ら工夫して制作する力を養う。  
工芸研究…工芸学習のまとめとし習得した技術を制作課題に生かし、自らを表現することをとおして総合的な視野を持つ造形力を養い、鑑賞力と豊かな心を育成する。

### (6) 選択科目（美術）素描・絵画・美術研究

- ・目 標 美術分野における基礎技術の習得と、それらを応用発展させ総合的に表現する力を養う。
- ・内 容 素描…素描、クロッキー等の基礎的表現技法をとおし空間の感覚および表現する力を養う。  
絵画…美術における各領域の基礎技法を、制作をとおして学び表現力を高めるとともに、作品制作における構想の力を養う。  
美術研究…油彩画の創造的な諸活動をとおして、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育て、感性と美意識を磨き個性豊かな美術の能力を高める。

9 学習系統について（平成28年度入学生からの教育課程）

		1 学 年	2 学 年	3 学 年
基礎 応用と制作 理論と鑑賞	工業技術基礎 4単位 ・ 工具の手入れ、使い方 ※美術Ⅰ 2単位 ※工芸Ⅰ 2単位 ・ 金工、ハーバーサイフ、陶芸			
	図法・製図 5単位			
	木工制作Ⅰ 3単位 ・ 木製おもちゃのデザイン ・ 制作、彫刻刀の使い方	木工制作Ⅱ 6単位 ・ 大型機械の使用法 ・ ツール、チェスト		
	工芸	工芸制作 4単位 ・ 半期ごとにコンセプトをたて設計し作品を制作する	工芸研究 4単位 ・ コンセプトをたて設計し作品を制作する	
	美術	素 描 1単位 絵 画 3単位	素 描 1単位 美術研究 3単位	
	共通		課題研究 4単位 ・ 1年間の制作の計画をたて工芸作品を制作する	
	木材理論 1単位	インテリア史 1単位		

※美術Ⅰ，工芸Ⅰは必履修科目

※3学年での課題研究、工芸研究、美術研究の時数が変化しています。

10 達成目標

- (1) 安全教育を徹底できたか
- (2) 教育課程の検討を推進できたか
- (3) 教科の内容と進度を適正にできたか
- (4) 各種連携を適切に行えたか

# 総合的な学習の時間 全体計画

## 1 総合的学習の時間の目標

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の在り方、生き方を考えることができるようにする。

## 2 本校の目標

全道唯一の村立工芸高校の生徒として自覚を持ち、地域との交流を深めるとともに、美術工芸を学ぶ意欲を高め、理解を深める。

## 3 内容

### (1) 育てたい資質や能力及び態度

- ① 進路情報を広い範囲から迅速かつ効果的に収集し、多角的・实际的に分析する力
- ② 先人の歴史や本校の伝統などを受け継ぎ、美術工芸の作品制作に生かすことができる技能
- ③ 異校種交流や村民との触れあいによる他者の考えを受け入れ、尊重し理解しようとする態度

### (2) 年間指導計画

学期	月	活動内容	実施学年・時数			項目 ※1	内 容
			1	2	3		
前期	4	新入生オリエンテーション	6			②	工芸科、本校の特徴の理解する
		進路の流れ再確認			1	①	進路活動の見通しを確認する
		職業と適性について		2		①・②	職業について知り、職業観と自己理解を深める
	5	植樹祭		3		③	植樹祭を通しての村民と交流する
		自分を知る①	1			①	適性検査を通して自己理解を深める
		出願書類の書き方 進路講話			1	①・②	出願書類について基本と準備の流れを理解する
	6	森林探訪	6			②	森林資源を把握し木材について理解する
		進路講話	2	2		①	上級学校について考える
		コース制ガイダンス	1			①	コース制について理解し進路について考える
		高大連携教育 交通安全活動	3	3	3	①・② ③	高大連携を通じた制作技術を習得する 清掃を通しての村を愛する心の育成を図る
	7	村民運動会	6	6	6	③	村民との触れあいによる異年齢交流をする
		舞台演出と表現	6	6	6	②	本校の伝統を受け継ぐ態度とその体現
	9	デザインスクール		1 8		①・②	高大連携を通じた制作技術を習得する
職業ガイダンス		2	2		①	職業の把握と自己理解を深める	
10	自分を知る②	1			①	適性検査を通して自己理解を深める	
後期	1 1	国際理解教育報告会	1	1	1	②・③	異文化理解と工芸制作への応用について学ぶ
	1	先輩の声を聞く会 赤ちゃん触れあい体験	2	2	3	①・② ③	先輩の経験を通して自己の目標・課題を明確にする 生命に対する畏敬の念の育成を図る
	2	面接試験とは		2		①・②	面接について理解し自己理解を深化させる
		性教育講話		2		③	性教育を通じた他者の考えや立場について考える
	合 計			3 7	4 9	2 4	

※1 項目とは、3 内容 (1) 育てたい資質や能力及び態度 の関連項目である。

## 4 活動内容の教科等の関連及び他機関との関連について

月	活動内容	関連する教科及び連携機関 等
4	新入生オリエンテーション	教科・科目(美術・工芸)
5	植樹祭	教科・科目(工芸)、北海道大学中川研究林、音威子府村
6	森林探訪	教科・科目(工芸)、北海道大学中川研究林、音威子府村
	進路講話	教科・科目(美術・工芸)、神戸芸術工科大学
	コース制ガイダンス	教科・科目(美術・工芸)
7	高大連携教育	教科・科目(美術・工芸)、東海大学
	交通安全活動	音威子府村、幼児センター、音威子府小中学校
	村民運動会	教科・科目(保健体育)、音威子府村
9	舞台演出と表現	特別活動(学校祭)
	デザインスクール	教科・科目(美術・工芸)、東海大学
1 1	職業ガイダンス	進路情報企業
	国際理解教育報告会	教科・科目(美術・工芸・英語)
1	職業講話	進路情報企業、公共職業安定所
	赤ちゃん触れあい体験	教科・科目(保健体育)、音威子府村(保健センター)
2	性教育講話	教科・科目(保健体育)、音威子府村(保健センター)

# 特別活動 全体計画

## 1 特別活動の目標

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての在り方、生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。

## 2 内容

### (1) ホームルーム活動

#### ① 目標

ホームルーム活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてのホームルームや学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。

#### ② 内容及び年間指導計画

省略（LHR活動年間指導計画を参照）

### (2) 生徒会活動

#### ① 目標

生徒会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団や社会の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。

#### ② 内容及び年間指導計画

学期	月	活動内容	活動場所	時数	項目(※1)
前期	4	対面式	体育館	1	(1)(2)(3)
		図書室の使用方法	HR教室	-	(1)(3)
	5	生徒総会議案作成	HR教室	-	(1)(3)
		おさしまボランティア説明	HR教室	-	(2)(5)
		生徒総会	体育館	1	(1)(3)(4)
	6	高体連壮行会(夏季)	体育館	-	(1)(4)
		学校祭希望調査	HR教室	-	(1)(3)(4)
		生徒総会(学校祭)	体育館	1	(1)(3)(4)
9	生徒会役員選挙事前準備	HR教室	-	(1)(3)	
	生徒会役員選挙	体育館	1	(1)(3)	
後期	11	留学生との触れあい	HR教室	-	(2)(4)
	12	体育祭希望調査	HR教室	-	(1)(3)(4)
		寮祭希望調査	HR教室	-	(1)(3)(4)
	1	高体連壮行会(冬季)	体育館	-	(1)(4)
	2	3年生を送る会(※2)	体育館	-	(1)(4)
-	-	寮生集会(※2)	寮内	-	(2)

※1  
項目とは、次のとおり学習指導要領に示されている生徒会活動の内容である。  
(1)生徒会の計画や運営  
(2)異年齢集団による交流  
(3)生徒の諸活動についての連絡調整  
(4)学校行事への協力  
(5)ボランティア活動などの社会参加

※2 寮生会の活動

### (3) 学校行事

#### ① 目標

学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活や社会生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。

#### ② 内容及び年間指導計画

学期	月	行事名	時数	学年	項目※1	他の教育活動との関連
前期	4	前期始業式	1	2・3	(1)	HR(事前指導)
		入学式準備	1	2・3	(1)	HR(事前指導)
		入学式	1	1	(1)	HR(事前指導)
		三計測	1	全	(3)	HR(事前指導)
		見学旅行結団式	1	3	(4)	HR(事前指導)
		見学旅行	30	3	(4)	HR(事前・事後指導)
	5	全校集会	1	1・2	(1)	HR(事前指導)
		全校集会	1	全	(1)	HR(事後指導)
		宿泊研修結団式	1	1	(4)	HR(事前指導)
	6	宿泊研修	18	1	(4)	教科・科目(美術・工芸)
		避難訓練	1	全	(3)	HR(事前指導)
	7	交通安全・薬物乱用防止講話	1	全	(3)	教科・科目(保健・体育)
		学校祭準備	6	全	(2)	特別活動(生徒会活動)
		学校祭	12	全	(2)	特別活動(生徒会活動)
		学校祭後片づけ	2	全	(5)	特別活動(生徒会活動)
		大掃除	3	全	(5)	HR(事前指導)
		全校集会	1	全	(1)	HR(事前指導)
	8	全校集会	1	全	(1)	HR(事後指導)
9	生徒会役員選挙	1	全	(2)	特別活動(生徒会活動)	
10	前期終業式	1	全	(1)	HR(事前指導)	

学期	月	行事名	時数	学年	項目※1	他の教育活動との関連
後期	10	後期始業式	1	全	(1)	HR (事前指導)
		大掃除	2	全	(5)	HR (事前指導)
		避難訓練	1	全	(3)	HR (事前指導)
	12	大掃除	3	全	(5)	HR (事前指導)
		全校集会	1	全	(1)	HR (事前指導)
	1	全校集会	1	全	(1)	HR (事前指導)
	2	大掃除	1	全	(5)	HR (事前指導)
		卒業式準備・予行	1	全	(1)	HR (事前指導)
		礼法指導・同窓会	2	3	(1)	HR (事前指導)
	3	卒業式	3	全	(1)	HR (事前指導)
		大掃除	1	1・2	(5)	HR (事前指導)
		大掃除	2	1・2	(5)	HR (事前指導)
		修了式	1	1・2	(1)	HR (事前指導)

※1 項目とは、次のとおり学習指導要領に示されている内容である。

- (1)儀式的行事 (2)文化的行事 (3)健康安全・体育的行事 (4)旅行・宿泊的行事  
(5)勤労生産・奉仕的行事

### 3 特別活動の5つの観点

「ホームルーム活動」「生徒会活動」「学校行事」を通して育てたい能力や態度を明確にするべく、5つ観点を設定している。

- (A) 望ましい集団活動の展開と望ましい集団の育成  
(B) 個人的な資質の育成  
(C) 社会的な資質の育成  
(D) 自主的、実践的な態度の育成  
(E) 人間としての在り方生き方についての自覚と自己を生かす能力の育成

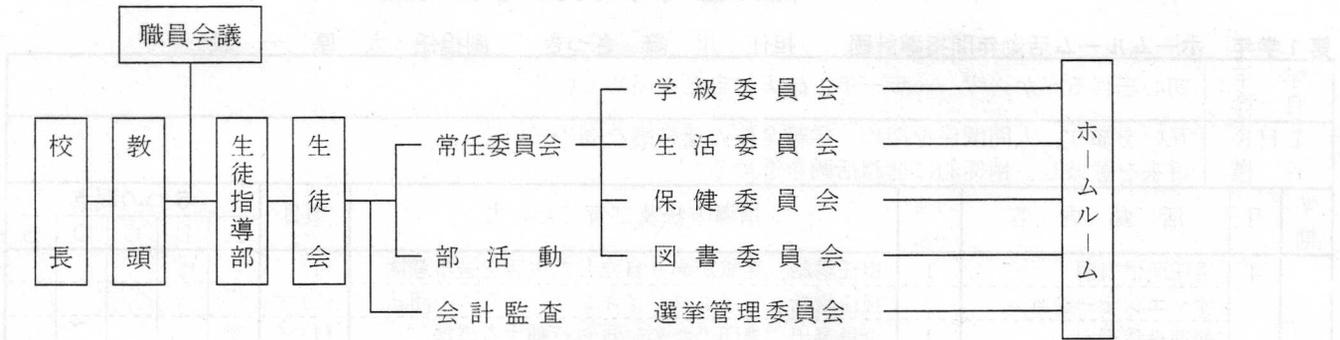
### 4 特別活動の項目

「項目」は、次のとおり学習指導要領に示されているホームルーム活動の内容である。

- (1) ホームルームや学校の生活づくり  
ア：ホームルームや学校における生活上の諸問題の解決  
イ：ホームルーム内の組織づくりと自主的な活動  
ウ：学校における多様な集団の生活の向上
- (2) 適応と成長及び健康安全  
ア：青年期の悩みや課題とその解決  
イ：自己及び他者の個性の理解と尊重  
ウ：社会生活における役割の自覚と自己責任  
エ：男女相互の理解と協力  
オ：コミュニケーション能力の育成と人間関係の確立  
カ：ボランティア活動の意義の理解と参画  
キ：国際理解と国際交流  
ク：心身の健康と健全な生活態度や規律ある習慣の確立  
ケ：生命の尊重と安全な生活態度や規律ある習慣の確立
- (3) 学業と進路  
ア：学ぶことと働くことの意義の理解  
イ：主体的な学習態度の確立と学校図書館の利用  
ウ：教科・科目の適切な選択  
エ：進路適性の理解と進路情報の活用  
オ：望ましい勤労観・職業観の確立  
カ：主体的な進路の選択決定と将来設計

## 5 組織編成

### (1) 生徒会機構



### (2) 生徒会役員

○会長：伊藤 倖平（3年）

○副会長：五十嵐深紅（3年） 白柳 緋里（2年）

○会計：矢三 るき（3年） 中濱 芽依（2年）

○書記：池田さやか（3年） 大田原知美（3年）

○会計監査：今井 涼（2年） 田村 まう（2年）

## 6 部活動組織

	アルパンスキー	クロスカントリースキー	バドミントン	工芸	美術	軽音楽	家政	文芸	計
男	5	6	3	10	11	6	0	3	44
女	4	4	0	13	31	12	7	1	72
計	9	10	3	23	42	18	7	4	116

# LHR活動年間指導計画

第1学年 ホームルーム活動年間指導計画 担任：川崎 さつき 副担任：大原 一毅

学 年 標		初心忘れるべからず 一步一步、確実に自己を高めていく								
LHR 目 標		互いを知り、人間関係を深め、学級全体の連帯感を高めていく。 将来を意識し、積極的に進路活動を進める。								
学 期	月	活 動 内 容	予 定 時 数	指 導 方 法 及 び 育 て たい 力	項 目	5つの観点				
						A	B	C	D	E
前 期	4	担任所信表明	1	担任講話、活気があり自立した生活を送る意欲	(1)ア		○	○		
		オリエンテーション	2	担任講話・アイスブレイキング、クラスの団結	(2)オ	○				
		前期役員選出	1	役員選出、集団のために自ら行動する姿勢	(1)イ	◎			○	
		対面式事前指導	1	自己紹介、自他への理解・学校生活への意欲	(2)イ	○			○	
	5	生徒総会議案書審議	1	議案書審議、自主性と協調性	(1)ウ	○		○	○	
		宿泊研修事前指導	2	日程・内容の確認、積極的に参加する意欲 係分担決め、集団のために行動する姿勢	(1)イ (2)ウ	○ ○		○	○	
	6	学校祭準備・指導	1	概要説明・役割決め、主体的に参加する姿勢	(1)ウ				○	
		携帯マナー教室	1	講師講話、社会性とネットモラル	(2)オ			○		
		学校祭係活動	1	より良い学校祭にするために強調する力	(1)ウ	○		○	○	
自分を見つめる		1	クレベリン結果を使用	(3)エ	○	○		○	◎	
7	各種検定資格について	1	進路のしおりを使用	(3)カ				○	◎	
	学校祭準備・指導	11	コミュニケーション能力・発想力・行動力	(1)ウ	○		○	○		
8	夏季休業明けLHR	1	服装・頭髪点検、規範意識	(2)ク			○			
9	前期の反省	1	講話、自己を見つめなおす力	(1)イ		○		◎	○	
後 期	10	後期役員選出	1	役員選出、集団のために自ら行動する姿勢	(1)イ	◎			○	
	11	体育祭原案審議	1	体育祭審議、協調性・危機管理能力	(2)ク	○			○	
		公務員について知る	1	進路のしおりを使用	(3)アオ			○		◎
	12	体育祭練習	2	説明・ルール理解、自主性・協調性と団結力	(2)オ	◎		○		
		大学について知る	1	進路のしおりを使用	(3)アオ			○		◎
	1	冬季休業明けLHR	1	服装・頭髪点検、規範意識	(2)ク			○		
3送会事前指導		1	心構え指導、感謝・思いやりの心	(2)オ			○		◎	
専門学校について知る		1	進路のしおりを使用	(3)アオ			○		◎	
2	進路規程について知る	1	進路のしおりを使用	(3)カ			○		◎	
	卒業式準備	1	心構え・礼法指導	(2)オ			○			
3	進級を前に	1	講話、進級に向けての覚悟・計画性	(3)カ					○	

※5つの観点 ◎～特に指導の重点とする観点、○～重視する観点

第2学年 ホームルーム活動年間指導計画 担任：池田教朗 副担任：押見栞奈

学年目標		LOVE&PEACE								
LHR目標		互いの考えを認め合うとともに、他者に対し自らの思いや考えを適切に表現できる力を育成する。 社会で求められる力を情報収集のもと理解し、進路を意識しつつそれを身につけることを育成する。								
学期	月	活動内容	予定時数	指導方法及び育てたい力	項目	5つの観点				
						A	B	C	D	E
前期	4	担任所信表明、心構え	1	担任講話、活気ある自立した生活を送る意欲	(1)ア		○	○		
		前期役員選出	1	役員選出、集団のために自ら行動する姿勢	(1)イ	◎			○	
	5	生徒総会議案書審議	1	議案書審議、自主性と協調性	(1)ウ	○		○	○	
	6	学校祭要項審議	1	学校祭要項審議、見通しを持った企画力	(1)ウ	○				◎
		携帯電話マナー教室	1	講師講話、社会性とネットモラル	(2)オ			◎		
		学校祭係活動	1	より良い学校祭にするために協調する力	(1)ウ	○		○	○	
	7	学校祭準備	11	コミュニケーション能力、発想力、行動力	(1)ウ	○		○	○	
中期	8	夏季休業明けLHR	1	服装・頭髪点検、規範意識	(2)ク		○	○		
	9	デザインスクール事前指導	2	目的確認、段取り力、自ら学び取る姿勢	(3)ア	○				◎
後期	10	後期へ向けて	1	高校生活後半への展望、進路のしおりの活用	(3)エ	○	○			
		後期役員選出	1	役員選出、集団のために自ら行動する姿勢	(1)イ	◎			○	
		デザインスクール反省	2	学びを今後活かす力	(3)ア	○				◎
	11	体育祭原案審議	1	体育祭審議、協調性、危機管理能力	(2)ク	○			○	
		職業ガイダンス	1	自己理解、適性	(3)エ		○	○		○
	12	体育祭練習	2	説明・ルール理解、自主性、協調性と団結力	(2)オ	◎		○		
	1	冬季休業明けLHR	1	服装・頭髪点検、規範意識	(2)ク		○	○		
3送会事前指導		1	感謝、最上級学年としての意識付け	(2)オ			○		◎	
学年末考査指導		1	学習計画作成、自主性・計画性	(3)カ				◎		
2	卒業式準備	1	心構え・礼法指導	(2)ウケ			○		○	
	求人票の見方	1	進路のしおりを使用	(3)アエカ		○		○	◎	
3	進級を前に	1	講話、3年次に向けての強い覚悟、計画性	(3)カ					◎	
	1年間の反省	1	自己を見つめなおす力、向上心	(1)イ		○		◎	○	
	見学旅行事前指導	2	目的確認、段取り力、協調性	(2)イカ	○			○		

※5つの観点 ◎～特に指導の重点とする観点、○～重視する観点

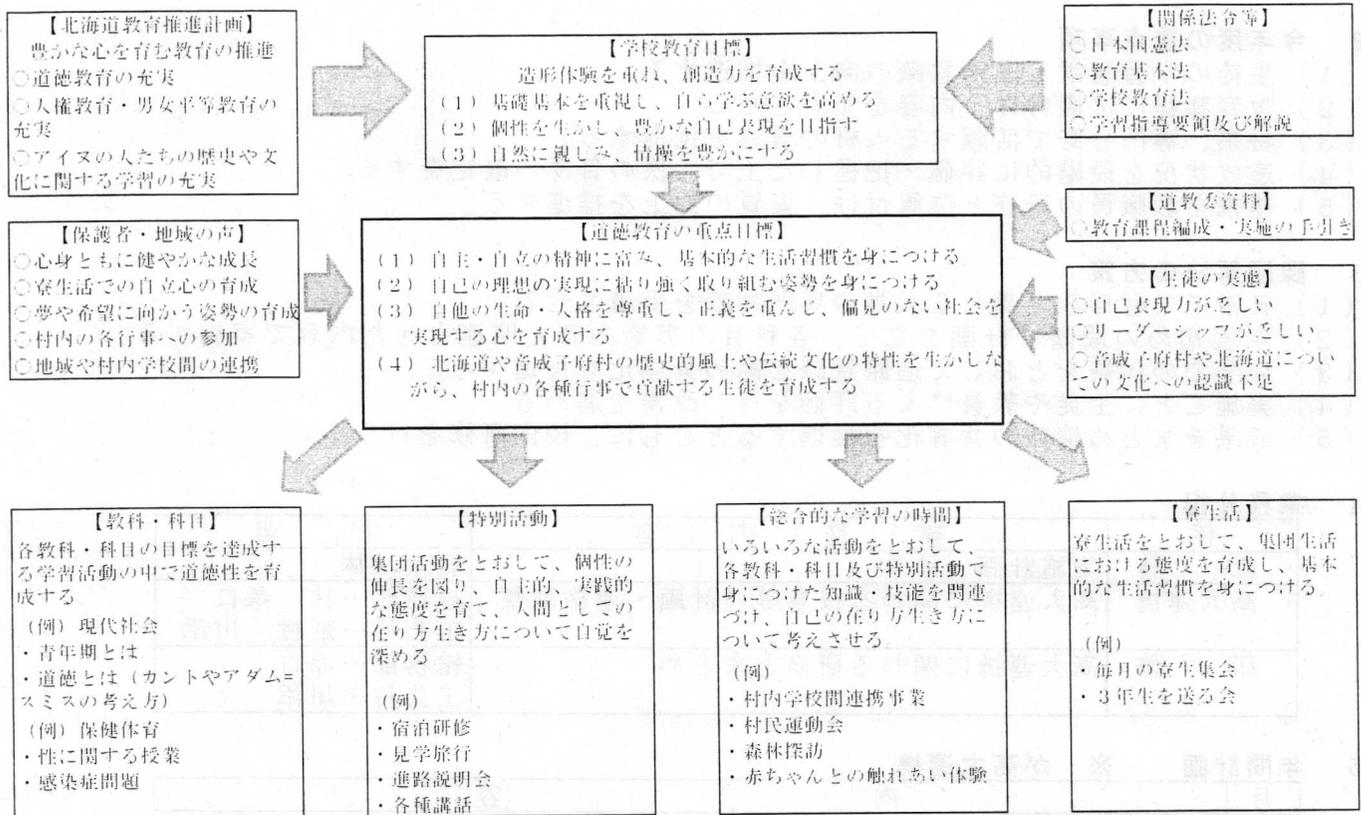
第3学年 ホームルーム活動年間指導計画 担任：碓矢真由 副担任：三谷佳典

学年目標		夢を楽しむ！								
LHR目標		挨拶、礼儀、自己管理など生活に関する当たり前の事を「きちんと」する力を育成する。 アイデアにあふれた問題解決の手段を自ら考え、対応力を養い、活躍する力を育成する。								
学期	月	活動内容	予定 時数	指導方法及び育てたい力	項目	5つの観点				
						A	B	C	D	E
前           期	4	所信表明、心構え	1	担任講話、計画性や見通しを持って行動する力	(1)ア		○	○		
		前期役員選出	1	役員選出、集団のために自ら行動する姿勢	(1)イ	◎			○	
		見学旅行事前指導	3	集団行動における自律心、協調性	(2)イカ	○			○	
	5	生徒総会議案書審議	1	議案書審議、自主性と協調性	(1)ウ	○		○	○	
		見学旅行の振り返り	2	グループ発表、プレゼンテーション能力	(3)イ	○			○	
		進路学習	1	思考力・自己表現力	(3)エ				○	○
	6	学校祭要項審議	1	学校祭要項審議、自主性と企画力	(1)ウ	○			◎	
		携帯電話マナー教室	1	講師講話、社会性とネットモラル	(2)オ			◎		
		学校祭係活動	1	活気ある学校祭にするための自主性と協調性	(1)ウ	○		○	○	
	7	進路の流れ	1	進路のしおりを使用、自主性・行動力	(3)カ				○	◎
		学校祭準備	11	活気ある学校祭にするための自主性と協調性	(1)ウ	○		○	○	
	8	夏季休業明けLHR	1	服装・頭髪等検査、規範意識	(2)ク		○	○		
進路学習、面談		1	受験指導・面接練習、思考力・自己表現力	(3)エ				○	○	
後      期	10	後期役員選出	1	役員選出、集団のために自ら行動する姿勢	(1)イ	◎			○	
		国際理解教育指導	1	留学生との交流、コミュニケーション能力	(2)キ			○		○
	11	体育祭原案審議	1	体育祭審議、協調性、危機管理能力	(2)ク	○			○	
		内定・合格後の生活	1	講話、自立・計画性	(3)カ		○			○
	12	体育祭練習	2	説明・ルール理解、自主性・協調性・団結力	(2)オ	○		○		
		社会人とは	1	講話、責任感・公共心	(3)ア			◎		○
1	冬季休業明けLHR	1	服装・頭髪等検査、規範意識	(2)ク		○	○			
	家庭学習前指導	1	説明、自己管理能力	(2)ウ			○		○	
	2	卒業式準備	1	説明、社会規範意識	(2)ウケ			○		○
3										

※5つの観点 ◎～特に指導の重点とする観点、○～重視する観点

# 道徳教育 全体計画

## 1 道徳教育の重点目標（模式図）



## 2 実施内容及び年間計画

学期	実施月	実施内容	教育課程上の位置づけ	実施学年
前期	4	新人生オリエンテーション	総合的な学習の時間	1
		対面式	学校行事	全
		職業と適性について	総合的な学習の時間	2
	5	宿泊研修事前準備	LHR	1
		森林探訪	総合的な学習の時間	2
	6	宿泊研修	学校行事	1
		交通安全活動	総合的な学習の時間	全
		進路講話	総合的な学習の時間	1・2
	7	交通安全・薬物乱用防止講話	特別活動（学校行事）	全
		村民運動会	総合的な学習の時間	全
学校祭準備		特別活動（学校行事）	全	
9	デザインスクール	総合的な学習の時間	2	
後期	10	国際理解教育報告会	総合的な学習の時間	全
	11	留学生交流会・お別れ会	LHR	全
	1	赤ちゃん触れあい体験	総合的な学習の時間	3
		3年生を送る会	学校行事（寮生会活動）	全
	2	性教育講話	総合的な学習の時間	2
		卒業式予行	学校行事	全
-	-	寮生集会（随時）	学校行事（寮生会活動）	全

# 高大連携教育計画

## 1 目 標

高大連携教育を通して教育の内容を充実させ、美術工芸教育の深化を図るとともに、大学教員との専門的研修を推進し教科指導力の向上を図る。

## 2 今年度の重点事項

- (1) 生徒の学習意欲・進路意識の向上を推進する。
- (2) 教育課程に位置付け、内容を充実させる。
- (3) 将来、専門分野で活躍する人材の育成を推進する。
- (4) 達成状況を段階的に評価・把握した上で、次の目標の設定をする。
- (5) 連携を教職員の研修と位置付け、資質の向上を推進する。

## 3 課題解決の方策

- (1) 日常の学習形態と異なる大学の専門教育を受講させる。
- (2) 年度初めの段階で計画を立て、各科目の実施内容と関連させた内容で実施する。
- (3) 大学での体験をとおして進路意識を高め具体化を推進する。
- (4) 実施ごとに生徒や教員による評価を行い改善を進める。
- (5) 成果をまとめ情報の共有化を推進するとともに、校内研修を行う。

## 4 業務分担

係	業 務 内 容	担 当
庶 務	実施計画、渉外	教頭、林
高大連携	高大連携に関わる授業等の計画・連絡調整	総務部…林、澤口 工芸科…野村、川添
研 修	高大連携に関わる研修とまとめ	総務部…澤口 工芸科…川添

## 5 年間計画 ※ が高大連携

月	内 容
4	教育計画、1年用手工具購入、材料購入計画
5	※高大連携 2学年「木工制作Ⅱ」 ポートフォリオの作り方（東海大学教官による連携授業） ※高大連携 3学年「課題研究」 ポートフォリオ・プレゼンテーションについて（東海大学教官による連携授業）
6	木の手づくり展（旭川）、森林探訪（1学年） ※高大連携 1学年「木工制作Ⅰ」 おもちゃ作りの考え方（東海大学教官による連携授業）
7	工芸棟大掃除計画、高総文祭
8	木の手づくり展（札幌）、高文連名寄支部美術展
9	※高大連携大学訪問 2学年『デザインスクール』4日日程（東海大学校舎での連携授業） 名作椅子について（関連：インテリア史） ※高大連携 2学年「木工制作Ⅱ」 デザイン制作とプレゼンテーションの方法（東海大学教官による連携授業）
10	工芸棟大掃除計画、1日体験入学、高文連全道大会
11	村文化祭
12	工芸棟大掃除計画、卒業生作品梱包
1	卒業生作品梱包・発送 卒業制作発表授業（全学年連携授業）
2	
3	学年末工芸棟大掃除計画

## 6 評価

- (1) 学習意欲・進路意識の向上を推進できたか。
- (2) 連携授業等が教育課程に位置づけられたか。
- (3) 専門性に魅力を感じ、進路意識に変化が見られたか。
- (4) 連携授業等を通して授業内において指導と評価の一体化を推進できたか。
- (5) 連携授業と関連させて教職員の研修を実施できたか。

# 学校間連携教育計画

## 1 村内教育推進協議会学校間連携部会の活動目標

この部会は、豊かな心を育むために、幼小中高が連携を取り合って、異校種間の接続を図るとともに、地域の特色を生かし、他者や社会及び、自然・環境と直接的な体験活動の充実と環境教育やふるさと教育への幅広い取組をすすめる。

## 2 担当者

- ・ 幼稚園 後藤 貴大
- ・ 小学校 花井 慎吾
- ・ 中学校 本多 弘
- ・ 小学校 芳賀 重紀
- ・ 高校 林 一浩
- ・ 教育委員会 一岡 政紀

## 3 活動計画について

### (1) 部会

- 4月26日(火) 第1回：学校間連携「交通安全キーホルダー配布」
- 5月18日(水) 第2回：総会、年間計画の確認
- 6月21日(火) 第3回：交通安全キーホルダー配布打ち合わせ
- 9月8日(木) 第4回：交通安全キーホルダー配布反省
- 2月3日(金) 第5回：年度末反省、次年度計画作成

### (2) 行事

交通安全キーホルダー配布 7月8日(金)

### (3) 授業連携(予定)

対象	内容	時期	関係教員
小(全)・中(全) 高(1年：美術I)	地域を題材にしたデザインの学習	未定	小：花井 高：林・ 工芸科
幼・高	未定(年度内検討)	未定	幼：後藤 高：林・ 工芸科
小(高学年)・中・高	絵画の題材	未定	中：本多 高：林・ 工芸科
小(低・中学年) 高	木材で工作する題材	未定	小：花井 高：林・ 工芸科
小(低学年)・幼	生活科 (前年度をベースに担当者間で調整)	未定	幼：後藤 小：花井

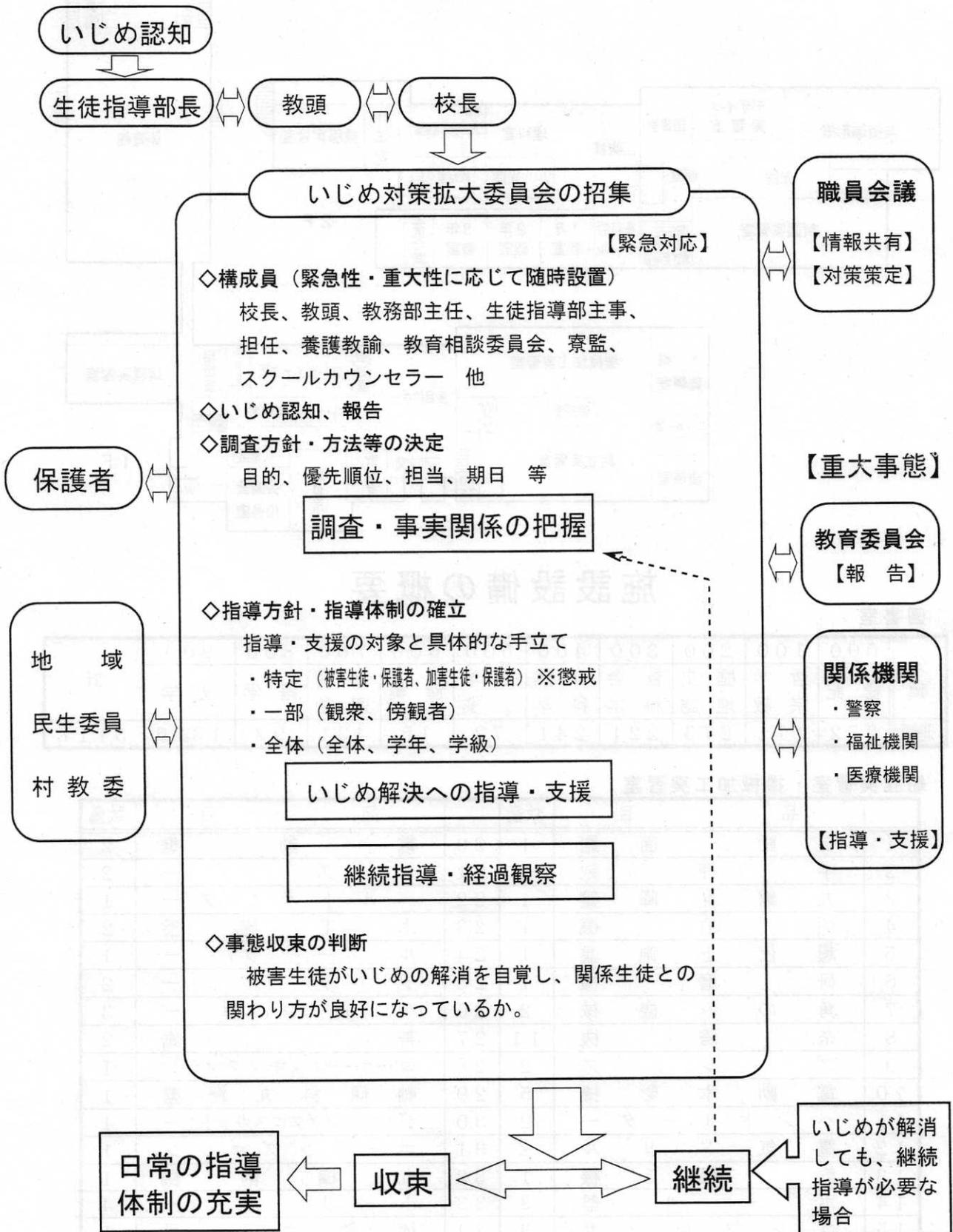
# いじめ対策

## 1 日常の指導体制（未然防止・早期発見）

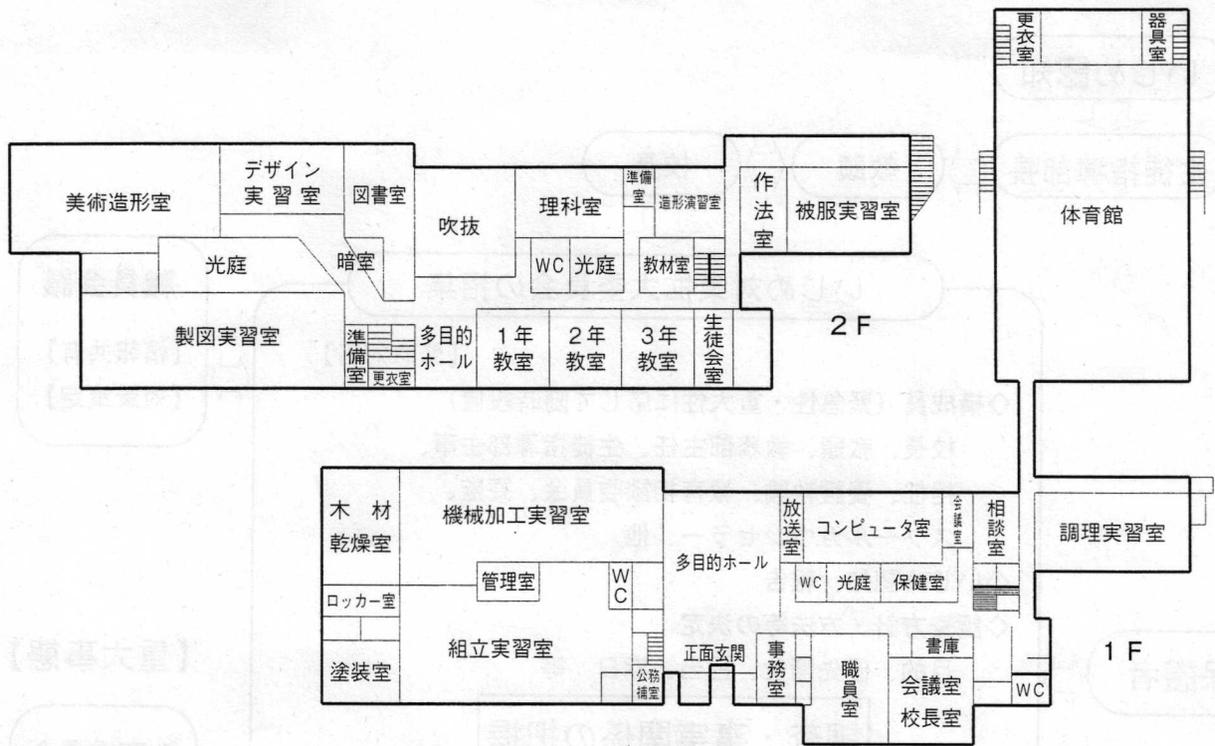


2 重大事態・緊急時の組織対応

図面 平和対



# 校舎平面図



## 施設設備の概要

### 1 図書室

分類	000	100	200	300	400	500	600	700	800	900	計
	総記	哲学 宗教	歴史 地誌	社会 科学	自然 科学	工学 工業	産業	芸術 運動	語学	文学	
冊数	272	171	275	221	241	72	16	431	92	1326	3117

### 2 組立実習室・機械加工実習室

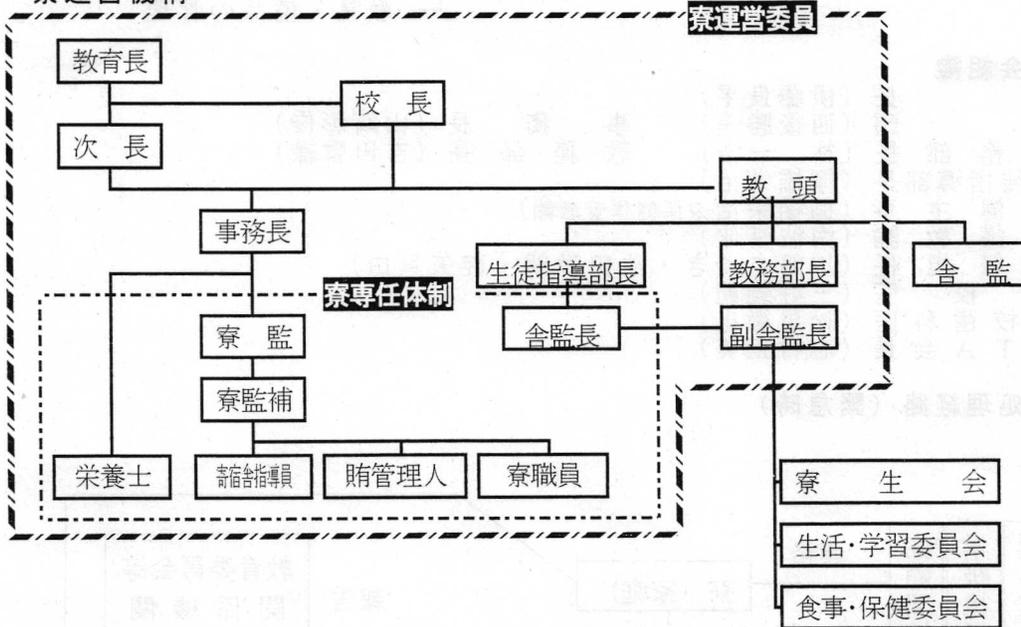
	品目	数量		品目	数量
1	自動一面鉋	1	20	電動鋸	2
2	手押鉋	1	21	ジグソー	2
3	丸鋸昇降盤	1	22	ベルトサンダー	1
4	柄取機	1	23	木工旋盤	2
5	超仕上鉋盤	1	24	ルーター	1
6	研磨機	1	25	チップパー	2
7	角のみ機械	2	26	チェンソー	3
8	糸鋸機	11	27	帯鋸	2
9	プレス	2	28	コーナーロッキングマシン	1
10	電動木彫機	5	29	軸傾斜丸鋸盤	1
11	ハンドルーター	2	30	ジャンピングクロスカットソー	1
12	電気ドリル	2	31	ボーリングマシン	1
13	乾燥機	1	32	丸棒削機	1
14	ボール盤	3	33	トリマー	4
15	コンプレッサ	3	34	補助ローラ	1
16	ジェットヒータ	1	35	レーザー加工機	1
17	サンダー	2	36	スポンジサンダー	1
18	移動式集塵機	3	37	卓上丸鋸盤	1
19	万能糸鋸盤	3	38	スピンドルサンダー	1

# チセネシリ寮概要

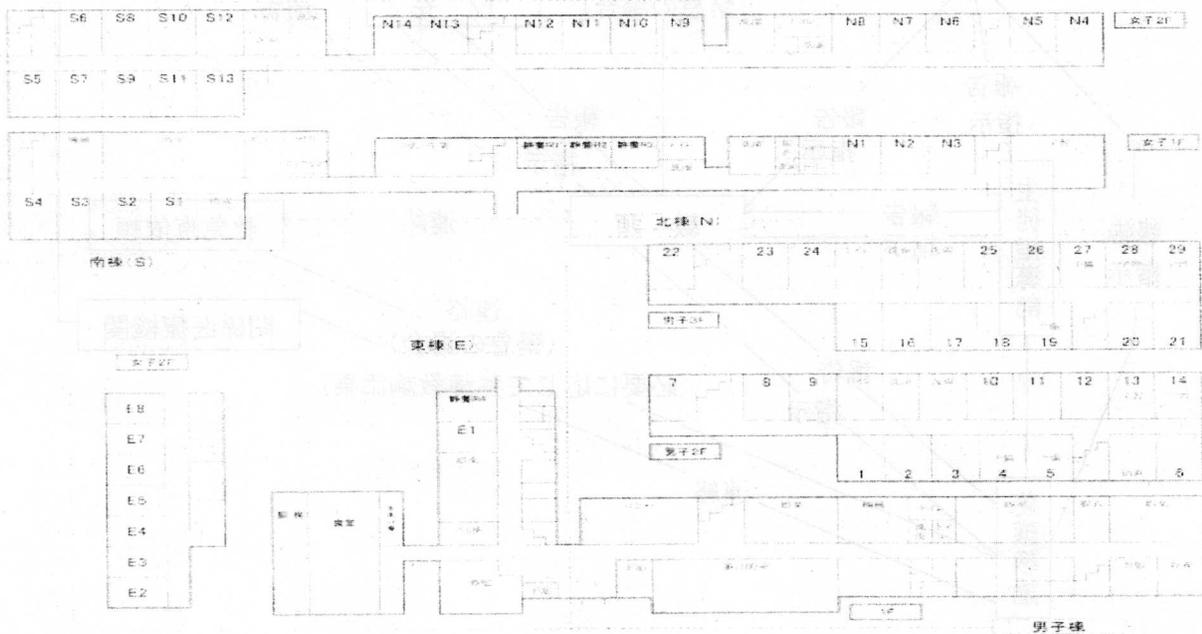
## 1 寮生数 (平成28年4月9日現在)

	1 年	2 年	3 年	合 計
男子	14	14	16	44
女子	26	23	23	72
合 計	40	37	39	116

## 2 寮運営機構



## 3 寮平面図



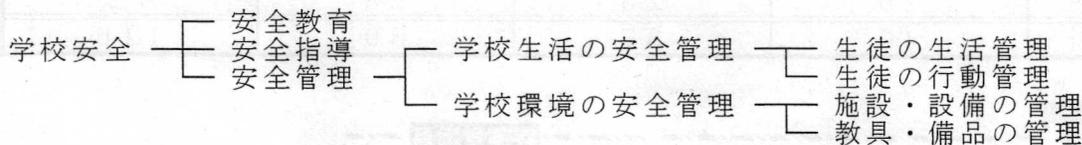
竣工 昭和55年11月30日  
 昭和63年11月30日 一部増築 平成4年3月31日 一部増築  
 平成13年8月17日 改修工事 平成14年8月18日 女子寮増築  
 平成22年3月31日 女子寮一部増築  
 平成26年3月28日 女子寮一部増築  
 平成27年8月13日 男子寮改修 平成28年1月31日 寮食堂新築

定員 男子116名、女子113名、合計229名

# 安全計画と安全管理

## 1 目的

学校における保健及び安全教育、安全指導、安全管理に関する計画を立て、生徒及び職員の保健保持推進を図り、学校教育の円滑な実施とその効果の保持に努める。

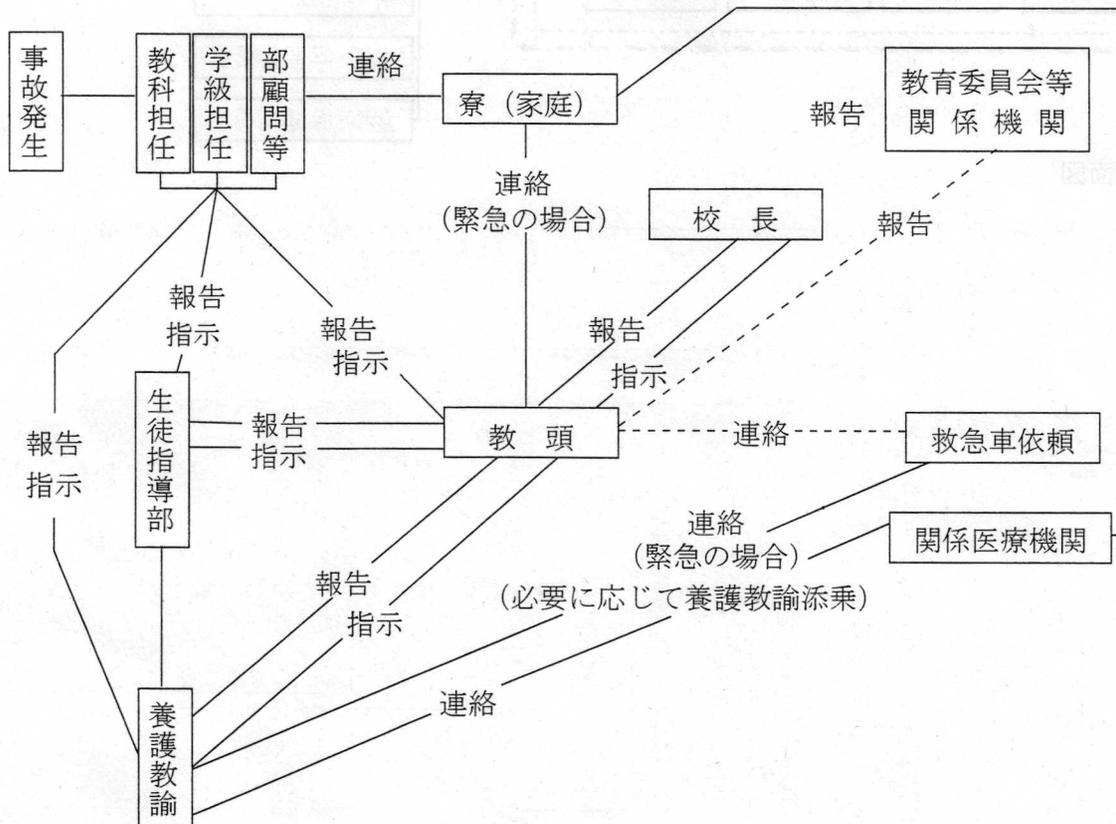


## 2 学校保健委員会組織

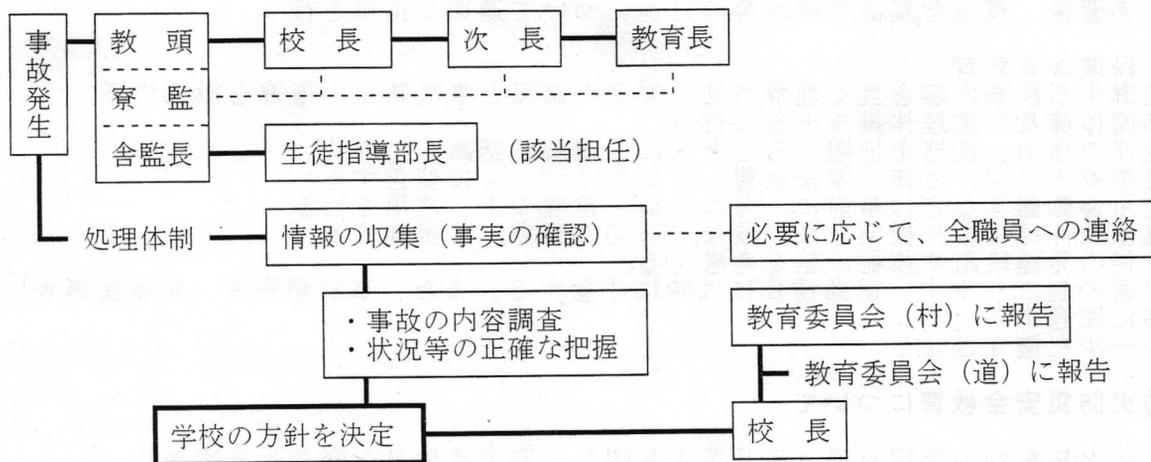
委員長	校長	長	(伊藤良平)	事務長	(山崎彰俊)
委員	教務部長	頭	(西後勝美)	教務部長	(吉田香織)
	総務部長	長	(林一浩)		
	生徒指導部長		(棚橋栄治)		
	保健主事		(棚橋栄治) ※保健体育教諭)		
	養護主事		(南波李佳)		
	学級担任		(川崎さつき・池田教朗・碓矢真由)		
	学医		(三好義範)		
	学歯科医		(松尾徹也)		
	P T A 会長		(志村正美)		

## 3 事故発生時の処理経路 (緊急時)

### (1) 学校内



(2) 寮内



留意点

- ① 「人命尊重」を第一に
  - ② 内容により臨機応変に
  - ③ 日頃から未然防止を
  - ④ サインを見逃さない
  - ⑤ 「心の居場所」づくりを
- 関係医療機関への連絡等 (教頭・養護教諭) <緊急>
  - 警察署及び消防署への連絡等 (教頭・寮監) <緊急>
  - 家庭への連絡 (担任・副担任)
  - 該当生徒への指導 (舎監長・生徒指導部・担任)
  - 他の生徒への指導 (舎監長・生徒指導部・全職員)
  - 再発防止への手だて等 (舎監長・生徒指導部・全職員)

4 安全計画の内容

(1) 安全管理に関する事項

- ① 月間1回の安全点検日の設定と実施
- ② 施設、設備の安全点検
- ③ 各教科、学校行事、部活動、休憩時間、その他の学校生活における安全指導
- ④ 防火、防災に関する事項 (防災組織、避難場所、経路の点検、防災設備の点検等)
- ⑤ その他必要な事項

(2) 安全教育に関する事項

- ① 学級指導、ホームルームの安全指導
- ② 交通安全講習会
- ③ 薬物に関する指導
- ④ 個別指導

(3) 組織活動に関する事項

- ① 保健委員会の活動
- ② 消防署、警察署等との連携
- ③ 家庭、PTA等との連携

5 安全点検について

校舎内外の安全点検は毎日の生活のなかで配慮し、改善すべき箇所などは速やかに処理を行い、安全環境を常に成立させるため、各自留意すること。尚、安全点検日 (月1回) は事故を未然に防ぐための実質的な点検であり、安全な学校環境を作るための点検日である。

6 教科教育の安全について

(1) 工芸科教育

- ① 実習室は明るく保ち、整理整頓に努め、道具や用具、機械の使用法を確実に理解させ、実習中は絶えず巡視指導を行う。
- ② 大型工作機械の使用については免許制とし、電動機械類の使用は特に厳重に監督する。
- ③ 弱視、色弱、難聴、虚弱、精神的発育遅滞等の心身の障害のある生徒に対しては、その程度に応じて工作機械等の使用について適切な指導を行う。
- ④ 部活動等の教科外で工作機械を生徒に使用させる場合、担当教員の立ち会いがない時は工作機械等の使用を許可しない。
- ⑤ 次に掲げる作業は生徒には行わせないこととする。
  - 工作機械の刃物の取り替え、及び試運転に関する作業
  - 工作機械等の点検、検査等の作業

(2) 理科教育及び家庭科実習教育

- ① 実習台の整理整頓に留意し、事故防止に努める。
- ② 火気取り扱いの際、引火、不完全燃焼、やけど等に留意する。
- ③ 薬品の取り扱いについて、以下の点に留意すること。
  - 安全な場所に鍵をかけて保管する。
  - 薬品の性質にあわせた保管を行う。

- 薬品の性質、使用目的、使用方法を十分に指導した上で生徒に使用させる。
- 実習後、残った薬品や廃液等の処理について適切な指導を行う。

(3) 保健体育教育

- ①指導する授業内容を良く理解させ、安全の確保と事故防止の指導を徹底する。
- ②準備体の操及び整理体を操に十行う。
- ③生徒の体力、性格を把握するとともに、理解、認識しておく。
- ④授業導入の際、生徒の健康状態、コンディションに留意する。
- ⑤使用運動器具などは事前に十分な点検と整備の上、使用させる。
- ⑥気象条件等により授業前方の法量などを適切に配慮して実施する。
- ⑦生徒の発達段階や技術的差を考慮する。
- ⑧傷害の起こりやすい運動種目には特に注意する。また、事故頻発者（頻発受傷者）に特に注意する。
- ⑨ルールを遵守させる。

## 7 防火防災安全教育について

- (1) 防火施設物の管理査察（毎月第1月曜日 安全点検日と合わせて実施）
- (2) 危険物の管理（全職）
- (3) 避難訓練（年2回 6月、10月）
  - 本訓練は生徒が学校内において突発的に起こった災害から、生命の安全を図るために速やかに危険地帯から避難するための安全訓練である。
  - ①実際の災害発生時に安全に避難できる能力を身につけさせる。
  - ②災害に対処する安全体制を平素より認識させる。
  - ③集団行動をとおして規律を守り、互いに協力しあう態度を養う。
  - ④災害防止の重要性を理解させる。

## 8 自衛消防規定

### 第一章 総則

- 第1条 非常事態発生に際し、生徒の安全を期し、学校の被害を最小限に防止し、その処理に万全を期することを目的とする。
- 第2条 非常事態に認められる場合は次のとおりとする。
- 1 校舎内より火災が発生したとき
  - 2 校舎付近より火災が発生したとき
  - 3 落雷、地震、洪水等のとき、若しくはこれらが予測されるとき

### 第二章 組織および任務

- 第3条 本要領を実施するため、次の班を置く。（別表 自衛防災組織表参照）
- 第4条 火災に発生する場合は、発見者は全体に通報、消防署に連絡の措置をとる。
- 第5条 職員は非常事態に際し、速やかに本規定の示すところに従い、適切な処理職となり得るよう平素留意しなければならない。
- 第6条 職員が校外にあって学校の非常災害を知った時は、直ちに登校し、部署につかかなければならない。
- 第7条 校外にある職員の通報は、学校長を先とし、学校に近い職員で、かつ短時間に連絡しうる順に行う。
- 第8条 本部から災害通報が発せられた時、直ちに避難し、次の指示で部署につき行動する。
- 第9条 避難集合場所は、生徒の安全のため村道十字路神社側とする。
- 第10条 避難集合場所における生徒は避難誘導班教師の指導に従い、許可なく集合場所を離れない。
- 第11条 各班の責任者は、任務遂行が生徒に危害を及ぼすと判断した時は、直ちに作業を中止し生徒の安全を期さなければならない。
- 第12条 非常事態終了後、生徒の異常有無を確認してから帰宅させる。

### 第三章 訓練

- 第13条 本要領の機能を円滑にするため、組織分担表に基づき必要に応じて訓練を行う。（年間2回以上）
- 第14条 警報は「非常事態通報」として次のとおりとする。  
「非常事態通報」は発生場所を連呼する。

9 自衛防災組織表

本部長 (校長) 副本部長 (教頭) (事務長) 防火管理者 (教頭)	指揮・通報連絡係 (◎教頭・山崎・横山) ○日常防災点検 ○避難訓練実施計画 ○火災時の警報受理 ○避難、消火、搬出命令 ○消防署、警察署への連絡
	避難誘導係 (◎碓矢・池田・川崎) ○非常口の開放 ○避難者の誘導 ○避難者の確認、本部への連絡
	搬出係 (◎辻本・野村) ○重要物品の搬出 (校長室・職員室・事務室)
	初期消火係 (◎林・三谷・澤口) ○消火栓 ○消火器 ○防火扉閉鎖
	救護係 (◎南波・押見・吉田・須藤) ○救護用品の携行 ○負傷者の応急処置 ○病院との連絡
	警備係 (◎棚橋・大原・川添) ○校舎内外の警備
	査察班 (◎教頭・全職員) ○火気使用状況 ○危険物の管理 ○防火施設設備の管理

10 各室管理責任者一覧 (火気管理責任者)

	室名	責任者		室名	責任者
1	校長室	山崎 彰 俊	22	造形演習室	須藤 由希子
2	職員室・書庫	西後 勝 美	23	1年生教室	川崎 さつき
3	事務室・印刷室	山崎 彰 俊	24	2年生教室	池田 教 朗
4	湯 沸 室	山崎 彰 俊	25	3年生教室	碓矢 真 由
5	職員ロッカー室	山崎 彰 俊	26	生徒会室	大原 一 毅
6	多目的ホール	川崎 さつき	27	体育館・教官室	棚橋 栄 治
7	公務補室・ボイラー室	辻本 博 美	28	女子更衣室	押見 栞 奈
8	放送室・コンピュータ室	池田 教 朗	29	機械加工実習室	野村 幸 伸
9	小 会 議 室	大原 一 毅	30	材 料 庫	野村 幸 伸
10	相 談 室	碓矢 真 由	31	工芸準備室	川添 龍 一
11	保 健 室	南波 李 佳	32	組立実習室	川添 龍 一
12	物置・ダストプール	辻本 博 美	33	塗 装 室	澤口 将 達
13	図 書 室	吉田 香 織	33	塗 料 庫	澤口 将 達
14	美術造形室	三谷 佳 典	35	塗装乾燥室	澤口 将 達
15	デザイン実習室	三谷 佳 典	36	男子更衣室	棚橋 栄 治
16	製図実習室・準備室	押見 栞 奈	37	職員・生徒玄関	辻本 博 美
17	暗 室	大原 一 毅	38	トレーニング室	池田 教 朗
18	理科室・準備室	林 一 浩	39	1F水飲み場・トイレ	川添 龍 一
19	調理実習室	林 一 浩	40	2F水飲み場・トイレ	大原 一 毅
20	被服実習室	須藤 由希子	41	体育館水飲み場・トイレ	南波 李 佳
21	教 材 室	林 一 浩			

## 11 各室の安全点検項目

- (1) 電源
  - ・ コンセントが過度のたこ足配線になっていないか。(1000w以上)
  - ・ 帰宅時にコンセントを抜いているか。(冷蔵庫等24時間使用するもの以外)
  - ・ 延長ケーブルは経年劣化していないか。
  - ・ 室内照明はつくか、放送スピーカーから音は聞こえるか、音量ダイヤルは回せるか。
  - ・ 換気扇スイッチが作動するか。
  - ・ コンセントに埃が溜まっていたり、焦げた跡はないか。
- (2) ガス・水道
  - ・ ボイラー作動音に異常はないか。
  - ・ 帰宅時に電源を切り、元栓を閉めているか。
  - ・ 1か月以内でガス漏れ臭を感じた事がないか。
  - ・ ガスボイラーの定期点検を行っている。(業者点検)
  - ・ 漏水はないか。
  - ・ (12月～3月) 帰宅時に水落としをしているか。凍結の恐れはないか。
  - ・ 排水溝に詰まりはないか。(下水臭はないか)
- (3) 消防設備
  - ・ 消火器の安全封は破られていないか。
  - ・ 消火器の使用期限は切れていないか。
  - ・ 消火設備の前に物を置くなどして取り出しにくくなっていないか。
  - ・ 非常ベルは鳴るか、非常灯は表示されるか。(業者点検)
  - ・ 避難経路は、人が通れる道幅を確保しているか。
  - ・ 防火扉の可動域に物品が置かれていないか。
- (4) 破損状況
  - ・ 壁、床、天井に穴やひび、汚れ、落書き、水漏れ等の形跡はないか。
  - ・ ガラスは割れていないか、開錠は可能か、カーテン・網戸の破損はないか。
  - ・ 教室備品(机・椅子)にがたつき、キズ、改造はないか。
  - ・ ゴミ箱は壊れていないか。
  - ・ (冬季のみ) 雪庇や軒下の雪山で窓ガラスに破損の恐れはないか。
- (5) 整理整頓
  - ・ 床に物が雑然と置かれていないか。
  - ・ ごみ箱内のごみ処理がなされているか。
  - ・ 教室内の清掃が適切に行われているか。
  - ・ 掃除用具は整備されているか。(数の過不足、片づけ状況)
  - ・ 机の並びは整然としているか。
  - ・ 窓枠の埃、チョーク受けやクリーナー内のチョーク粉等は掃除されているか。
- (6) その他
  - ・ AEDのバッテリー残量は適正範囲内か
  - ・ 担架や止血帯は、使用できる状況で設置されているか。
  - ・ (職員室) さすまた、避難集合旗(赤旗)は整備されているか。
  - ・ 緊急避難時持ち出し物品はまとまっているか。
  - ・ 暖房設備に不具合はないか。
  - ・ 部屋の大きさに対して適正量以上の物品が置かれていないか。
  - ・ 塗料・薬品等、危険物の保管、処理状況に問題はないか。
  - ・ 異臭・異音はないか。
  - ・ 前回点検時のチェック内容は改善されているか。
  - ・ (恒常的に使用しない部屋は) その都度施錠されているか。



# 平成28年度 教育カレンダー 前期

4月							5月							6月													
日	曜	1	2	3	4	5	6	行事	日	曜	1	2	3	4	5	6	行事	日	曜	1	2	3	4	5	6	行事	
1	金	x	x	x	x	x	x	年度始休業1	1	日	x	x	x	x	x	x	(週休日)	1	水	旅	旅	旅	旅	旅	旅	宿泊研修(6月3日迄) 防災安全点検日	
2	土	x	x	x	x	x	x	年度始休業2	2	月	x	x	x	x	x	x	開校記念日	2	木	旅	旅	旅	旅	旅	旅	校務運営会議	
3	日	x	x	x	x	x	x	年度始休業3	3	火	x	x	x	x	x	x	憲法記念日	3	金	旅	旅	旅	旅	旅	旅	第2回公務員模試 全道美術専門委員会	
4	月	x	x	x	x	x	x	年度始休業4	4	水	x	x	x	x	x	x	みどりの日	4	土	x	x	x	x	x	x	(週休日)	
5	火	x	x	x	x	x	x	年度始休業5	5	木	x	x	x	x	x	x	こどもの日	5	日	x	x	x	x	x	x	(週休日) 寮レク(3年)	
6	水	x	x	x	x	x	x	年度始休業6	6	金	x	x	x	x	x	x	夏季休業1	6	月	x	x	x	x	x	x	職員会議	
7	木	x	x	x	x	x	x	(帰寮) 年度始休業7	7	土	x	x	x	x	x	x	(週休日)	7	火	x	x	x	x	x	x	尿検査(2次)	
8	金	■	■	■	■	■	■	前期始業式・入寮式 防災安全点検日	8	日	x	x	x	x	x	x	(週休日) 帰寮	8	水	x	x	x	x	x	x	木の手づくり展(旭川)搬入日	
9	土	■	■	■	■	■	■	第33回入学式 PTA体文総会	9	月	■	■	■	■	■	■	防災安全点検日 全校集会	9	木	x	x	x	x	x	x	木の手づくり展(旭川)~12 英語検定	
10	日	x	x	x	x	x	x	(週休日)	10	火	x	x	x	x	x	x	歯科検診 校務運営会議	10	金	x	x	x	x	x	x	木の手づくり展(旭川)~12 英語検定	
11	月	x	x	x	x	x	x	(振替休日)	11	水	x	x	x	x	x	x	内科検診(2年) 心電図検診(1年)	11	土	x	x	x	x	x	x	寮レク(2年)	
12	火	総	総	L	L	L	L	個人写真撮影 新入生オリエンテーション 校務運営会議	12	木	x	x	x	x	x	x	職員会議	12	日	x	x	x	x	x	x	(週休日)	
13	水	総	総	L	L	L	L	対面式 新入生オリエンテーション	13	金	x	x	x	x	x	x	第1回公務員模試	13	月	x	x	x	x	x	x	教育実習(7月1日迄)	
14	木	総	総	L	L	L	L	新入生オリエンテーション 職員会議 2計測・視力・聴力検査	14	土	x	x	x	x	x	x	新入寮生歓迎会 (週休日)	14	火	x	x	x	x	x	x		
15	金	x	x	x	x	x	x	(週休日)	15	日	x	x	x	x	x	x	(週休日)	15	水	x	x	x	x	x	x		
16	土	x	x	x	x	x	x	(週休日)	16	月	x	x	x	x	x	x		16	木	x	x	x	x	x	x	地区別懇談会(音威子府)	
17	日	x	x	x	x	x	x	(週休日)	17	火	x	x	x	x	x	x	生徒総会(年間計画)	17	金	x	x	x	x	x	x	漢字検定	
18	月	x	x	x	x	x	x	結核検診(1年)	18	水	x	x	x	x	x	x	音威子府村教育推進協議会 内科検診(1年) 尿検査(1次)	18	土	x	x	x	x	x	x	地区別懇談会(札幌) (週休日)	
19	火	x	x	x	x	x	x		19	木	x	x	x	x	x	x	高体連壮行会(5分短縮日課)	19	日	x	x	x	x	x	x	地区別懇談会(旭川) (週休日)	
20	水	x	x	x	x	x	x	内科検診(3年) 心電図検診(1年)	20	金	x	x	x	x	x	x	高体連集約大会	20	月	x	x	x	x	x	x		
21	木	x	x	x	x	x	x		21	土	x	x	x	x	x	x	(週休日)	21	火	x	x	x	x	x	x	音威子府村教育推進協議会	
22	金	x	x	x	x	x	x	見学旅行結団式	22	日	x	x	x	x	x	x	(週休日)	22	水	x	x	x	x	x	x	コース選択ガイダンス(1年)	
23	土	x	x	x	x	x	x	(週休日)	23	月	x	x	x	x	x	x		23	木	■	■	■	■	■	■	前期中間考査	
24	日	x	x	x	x	x	x	(週休日)	24	火	x	x	x	x	x	x		24	金	■	■	■	■	■	■	前期中間考査 避難訓練	
25	月	x	x	x	x	x	x	見学旅行	25	水	x	x	x	x	x	x		25	土	x	x	x	x	x	x	(週休日)	
26	火	旅	旅	旅	旅	旅	旅	見学旅行	26	木	x	x	x	x	x	x	寮避難訓練	26	日	x	x	x	x	x	x	(週休日)	
27	水	旅	旅	旅	旅	旅	旅	見学旅行	27	金	x	x	x	x	x	x		27	月	x	x	x	x	x	x	前期中間考査	
28	木	旅	旅	旅	旅	旅	旅	全校集会(5分短縮日課) 見学旅行	28	土	x	x	x	x	x	x	(週休日)	28	火	x	x	x	x	x	x		
29	金	x	x	x	x	x	x	帰省日 昭和の日	29	日	x	x	x	x	x	x	(週休日)	29	水	x	x	x	x	x	x		
30	土	x	x	x	x	x	x	(週休日)	30	月	x	x	x	x	x	x		30	木	x	x	x	x	x	x		
									31	火	■	■	■	■	■	■	旅	宿泊研修結団式(1学年) 職員健康診断									
進路の流れ再確認 3年総学(1時間) 職業と適性について 1年総学(1時間)									権樹祭 LHR1時間+総学3時間(2学年) 自分を知る① 1年総学(1時間) 出願書類の書き方 3年総学(1時間) 進路講話 3年総学(1時間) 宿泊研修事前指導 1年LHR 見学旅行振り返り、進路学習 3年LHR									携帯電話マナー講座(各学年LHR1時間) 薬物乱用防止・交通安全・防犯講座 生徒総会(学校祭)各学年LHR1時間+行事(生徒) 学校祭要項審議(各学年LHR) 学校祭係活動(各学年LHR) 自分を見つける 1年LHR 高大連携教育 3年総学2時間 交通安全活動 各学年総学3時間 森林探訪 1年総学7時間									

# 北海道おといねっふ美術工芸高等学校

7月							8月							9月									
日	曜	1	2	3	4	5	日	曜	1	2	3	4	5	6	日	曜	1	2	3	4	5	6	行事
1	金	.	.	.	.	.	1	月	x	x	x	x	x	x	1	木	.	.	.	.	.	第3回公務員模試 防災安全点検日 単票提出	
2	土	x	x	x	x	x	2	火	x	x	x	x	x	x	2	金	.	.	.	.	.	(週休日)	
3	日	総	総	総	総	総	3	水	x	x	x	x	x	x	3	土	x	x	x	x	x	村民運動会	
4	月	x	x	x	x	x	4	木	x	x	x	x	x	x	4	日	x	x	x	x	x	駿台全国マーク模試(3年) 振替休日	
5	火	.	.	.	.	.	5	金	x	x	x	x	x	x	5	月	.	.	.	.	.	校務運営会議 一覧表提出	
6	水	.	.	.	.	.	6	土	x	x	x	x	x	x	6	火	.	.	.	.	.	(週休日)	
7	木	.	.	.	.	.	7	日	x	x	x	x	x	x	7	水	.	.	.	.	.	(週休日)	
8	金	.	.	.	.	L	8	月	x	x	x	x	x	x	8	木	.	.	.	.	.	学校祭日課開始(5分短縮日課) 職員会議(成績会議)	
9	土	x	x	x	x	x	9	火	x	x	x	x	x	x	9	金	.	.	.	.	.	(週休日)	
10	日	x	x	x	x	x	10	水	x	x	x	x	x	x	10	土	x	x	x	x	x	匠者バスツアー	
11	月	.	.	.	.	L	11	木	x	x	x	x	x	x	11	日	x	x	x	x	x	(週休日)	
12	火	.	.	.	.	L	12	金	x	x	x	x	x	x	12	月	.	.	.	.	.	(週休日)	
13	水	.	.	.	.	総	13	土	x	x	x	x	x	x	13	火	.	.	.	.	L	舞台演出と表現	
14	木	.	.	.	.	総	14	日	x	x	x	x	x	x	14	水	総	総	総	総	総	(週休日)	
15	金	.	.	.	.	総	15	月	x	x	x	x	x	x	15	木	.	.	.	.	.	舞台演出と表現	
16	土	x	x	x	x	x	16	火	x	x	x	x	x	x	16	金	総	総	総	総	総	(週休日)	
17	日	x	x	x	x	x	17	水	備	L	x	x	x	x	17	土	x	x	x	x	x	(週休日)	
18	月	x	x	x	x	x	18	木	備	L	x	x	x	x	18	日	x	x	x	x	x	海の日	
19	火	.	.	L	L	総	19	金	x	x	x	x	x	x	19	月	x	x	x	x	x	舞台演出と表現	
20	水	.	.	L	L	総	20	土	x	x	x	x	x	x	20	火	.	.	.	.	.	(週休日)	
21	木	.	.	L	L	総	21	日	x	x	x	x	x	x	21	水	.	.	.	.	.	(週休日)	
22	金	文	文	文	文	文	22	月	.	.	.	.	.	.	22	木	x	x	x	x	x	学校祭終日準備	
23	土	文	文	文	文	文	23	火	.	.	.	.	.	.	23	金	.	.	.	.	.	学校祭(1日目)	
24	日	文	文	文	文	文	24	水	.	.	.	.	.	.	24	土	x	x	x	x	x	学校祭(2日目)	
25	月	動	動	動	動	備	25	木	.	.	.	.	.	.	25	日	x	x	x	x	x	全校集会 学校祭片付け、大掃除	
26	火	x	x	x	x	x	26	金	.	.	.	.	.	.	26	月	.	.	休	休	.	備省日 夏季休業2 三者懇談会(音威子府)	
27	水	x	x	x	x	x	27	土	x	x	x	x	x	x	27	火	.	.	.	.	.	夏季休業3	
28	木	x	x	x	x	x	28	日	x	x	x	x	x	x	28	水	.	.	.	.	.	夏季休業4	
29	金	x	x	x	x	x	29	月	.	.	.	.	.	.	29	木	.	.	.	.	.	夏季休業5	
30	土	x	x	x	x	x	30	火	.	.	.	.	.	.	30	金	x	x	x	x	x	(週休日)	
31	日	x	x	x	x	x	31	水	.	.	.	.	.	.	31	土	x	x	x	x	x	夏季休業6 (週休日)	
八幡神社祭 木の手づくり展(札幌) 舞台演出と表現 各学年総学6時間 各種検定資格について 1年LHR 進路の流れ 3年LHR							商工会納派益誦 トレイルランニング大会 木の手づくり展(札幌) 三者懇談会(札幌・旭川)							職業ガイダンス 1・2年総学2時間 前期の反省 1年LHR1時間 進路学習・面談 3年LHR1時間 デザインスクール事前指導 2年LHR2時間  防犯教室(健 全学年行事)									



# 平成28年度 教育カレンダー 後期

10月							11月							12月												
日	曜	1	2	3	4	5	6	行事	日	曜	1	2	3	4	5	6	行事	日	曜	1	2	3	4	5	6	行事
1	土	X	X	X	X	X	X	(週休日)	1	火	.	.	.	.	.	.	防災安全点検日	1	木	.	.	.	.	.	.	防災安全点検日
2	日	X	X	X	X	X	X	(週休日)	2	水	.	.	.	.	.	.	地区別懇談会(音威子府)	2	金	.	.	.	.	.	.	全道美術専門委員会
3	月	X	X	X	X	X	X	夏季休業25	3	木	X	X	X	X	X	X	文化の日	3	土	X	X	X	X	X	X	センター試験プレテスト(2年) (週休日) 高2駿台全国マーク模試(2年)
4	火	X	X	X	X	X	X	冬季休業1	4	金	.	.	.	.	.	.		4	日	X	X	X	X	X	X	(週休日)
5	水	X	X	X	X	X	X	高文連美術全道大会 冬季休業2	5	土	X	X	X	X	X	X	(週休日) 地区別懇談会(札幌) 匠号/バスツアー	5	月	.	.	.	.	.	.	
6	木	X	X	X	X	X	X	高文連美術全道大会 冬季休業3	6	日	X	X	X	X	X	X	(週休日) 地区別懇談会(旭川)	6	火	.	.	.	.	.	.	単票提出
7	金	X	X	X	X	X	X	高文連美術全道大会 冬季休業4	7	月	.	.	.	.	.	.	校務運営会議	7	水	.	.	.	.	.	.	
8	土	X	X	X	X	X	X	(週休日)	8	火	.	.	.	.	.	.		8	木	.	.	.	.	.	.	一覧表提出 校務運営会議
9	日	X	X	X	X	X	X	(週休日)	9	水	.	.	.	.	.	.	職員会議	9	金	.	.	.	.	.	.	
10	月	X	X	X	X	X	X	棉着日 体育の日	10	木	.	.	.	.	.	.		10	土	X	X	X	X	X	X	(週休日)
11	火	X	X	X	X	X	X	防災安全点検日 後期始業式 校務運営会議	11	金	.	.	.	.	.	.		11	日	X	X	X	X	X	X	(週休日)
12	水	.	.	.	.	.	.		12	土	X	X	X	X	X	X	(週休日) 祭	12	月	.	.	.	.	.	.	職員会議(成績会議)
13	木	.	.	.	.	.	.	職員会議	13	日	X	X	X	X	X	X	(週休日)	13	火	.	.	.	.	.	.	
14	金	.	.	.	.	.	.		14	月	.	.	.	.	.	.		14	水	.	.	.	.	.	.	
15	土	X	X	X	X	X	X	駿台ベネッセ記述模試 (週休日)	15	火	.	.	.	.	.	.		15	木	.	.	.	.	.	.	
16	日	X	X	X	X	X	X	(週休日)	16	水	.	.	.	.	.	.		16	金	.	.	.	.	.	.	
17	月	.	.	.	.	.	.		17	木	.	.	.	.	.	.		17	土	X	X	X	X	X	X	(週休日)
18	火	.	.	.	.	.	.		18	金	.	.	.	.	.	.		18	日	X	X	X	X	X	X	(週休日)
19	水	.	.	.	.	.	.		19	土	X	X	X	X	X	X	(週休日)	19	月	.	.	.	.	.	.	
20	木	.	.	.	.	.	.		20	日	X	X	X	X	X	X	(週休日)	20	火	.	.	.	.	.	.	
21	金	.	.	.	.	.	.	工芸棟大掃除 全校集会	21	月	.	.	.	.	.	.		21	水	.	.	.	.	.	.	工芸棟・一般区大掃除 全校集会
22	土	.	.	.	.	.	.	一日体験入学	22	火	.	.	.	.	.	.		22	木	X	X	X	X	X	X	棉着日 冬季休業5 祭と学校の情報交換会
23	日	X	X	X	X	X	X	(週休日)	23	水	X	X	X	X	X	X	勤労感謝の日	23	金	X	X	X	X	X	X	冬季休業6 天皇誕生日
24	月	X	X	X	X	X	X	(振替休日)	24	木	.	.	.	.	.	.	後期中間考査	24	土	X	X	X	X	X	X	冬季休業7 (週休日)
25	火	.	.	.	.	.	.		25	金	.	.	.	.	.	.	後期中間考査	25	日	X	X	X	X	X	X	冬季休業8 (週休日)
26	水	.	.	.	.	.	.		26	土	X	X	X	X	X	X	(週休日)	26	月	X	X	X	X	X	X	冬季休業9
27	木	.	.	.	.	.	.	避難訓練	27	日	X	X	X	X	X	X	(週休日)	27	火	X	X	X	X	X	X	冬季休業10
28	金	.	.	.	.	.	.		28	月	.	.	.	.	.	.	後期中間考査	28	水	X	X	X	X	X	X	冬季休業11
29	土	X	X	X	X	X	X	(週休日)	29	火	.	.	.	.	.	.		29	木	X	X	X	X	X	X	冬季休業12
30	日	X	X	X	X	X	X	(週休日)	30	水	.	.	.	.	.	.		30	金	X	X	X	X	X	X	冬季休業13
31	月	.	.	.	.	.	.											31	土	X	X	X	X	X	X	冬季休業14

学生美術全道展(美術部)  
国際理解教育スウェーデン生徒派遣  
自分を知る② 1年総学1時間  
後期へ向けて 2年LHR1時間  
国際理解教育指導 3年LHR1時間

国際理解教育帰国報告会(各学年総学1時間)  
体育祭原案審議(各学年LHR1時間)  
公務員について知る 1年LHR1時間  
職業ガイダンス 2年LHR1時間  
内定・合格後の生活 3年LHR1時間

体育祭(各学年LHR2時間)  
大学について知る 1年LHR1時間  
社会人とは 3年LHR1時間

